

第七十六回帝國議會
衆議院

健康保險法中改正法律案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
健康保險法中改正法律案(政府提出)(第一八號)

會議

昭和十六年二月五日(水曜日)午後一時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野田 俊作君

理事小野 廉君 理事山田 清君

理事渡邊 健君 理事林 讓治君

伊藤東一郎君 飯村 五郎君

出井 兵吉君

喜多壯一郎君 清水留三郎君

土屋清三郎君 本田彌市郎君

松尾 三藏君 松村 光三君

出席政府委員左ノ如シ

厚生省衛生局長 加藤於菟丸君

保險院長官 樋員 詮三君

保險院總務局長 川村 秀文君

保險院社會保險局長 木村 清司君

保險院簡易保險局長 前田 穰君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

健康保險法中改正法律案(政府提出)

○野田委員 只今ヨリ開會致シマス——岡崎君

○岡崎(憲)委員 私ハ此ノ法案ニ付テ御尋

ネ致シマス、今回御改正ニナツテ、今日マ

デ何等恩典ニ浴シテ居ナイ所ノ、謂ハバ海

上ノ方ニモ、陸上ノ方ニモ屬シテ居ナイ宙

ブラリンノ港灣労働者、其ノ人達ニ適用サ

レルヤウニナリマシタコトハ、ソレ等ノ勞

働者ニ取ツテ洵ニ有難イコトト思ヒマス、

ソレデ此處ニ「貨物積卸ノ事業」ソレカラ

「前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定ス

ル事業」トアリマスガ、此ノ勅令ノ方ニ廻ス

モノハ一體ドウ云フモノデアリマスガ、御

聽キ致シマス

○川村政府委員 御答ヘテ申上ゲマス、勅令

ヲ以テ指定致シマスル事業ハ、只今ノ所清

掃、焼却、屠殺ニ關スル事業ヲ豫定致シテ

居リマス、尙ホ今後必要ナ事業ガ出來マス

ルナラバ、必要ニ應ジテ指定ヲ致ス考ヘデ

ゴザイマス

○岡崎(憲)委員 茲ニ改正セラルル(ト)ト

云フノハ、サウ云フモノデナイ方ノ勅令ヲ

以テ指定スルト云フ風ニ思ハレルノデス

ガ、所謂平水航路トカ、或ハ航空機ト云フ

ヤウナモノガ書イデアリマスガ、是ハドウ

ナルノデスカ

○川村政府委員 御答ヘ致シマス、只今御

話ノ航空機ニ依ル運送ノ事業、或ハ平水沿

海航路ニ於ケル運送ノ事業ト云フモノハ、

第十三條第三號ニ於テ今回「陸上ニ於テ爲

ス」ト云フ文字ヲ削リマシテ、(ホ)ニ依ツ

テ指定ヲ致ス豫定ニ致シテ居リマス

○岡崎(憲)委員 其ノ(ホ)ト云フモノニ入

ルモノデアリマセウガ、此處ニ「自動車、荷

牛馬車ニ依ル運送ノ事業」ト書イデアリマ

スガ、是ハ御承知ノ通り「ガソリン」或ハ牛

馬ト云フモノガ現在少イノデ、實際ハ人間

ガ運ブ方ガ多イト思フノデス、所謂手車ト

云ヒマスガ、ソレニ依ツテ運送スル方ガ現

在ハ多イト思フノデアリマスガ、此ノ人達

ニ對シテ健康保險法ガ適用サレルト云フコ

トハドウ云フ風ニナツテ行キマセウカ、所

謂手車ニ依ツテ運送スル人達ガ、何カ外ノ

方法ニ依ツテ此ノ健康保險法ヲ適用サレル

ヤウニナルカドウカト云フコトヲ御聽キス

ルノデアリマス

○川村政府委員 健康保險法第十三條第三

號(ホ)ノ規定ニ依リマスル運送事業ノ指定

ノ中ニ「自動車、荷牛馬車ニ依ル運送ノ事

業」ト書イデアリマス、其ノ荷車ニ依ル運

送ノ事業ハ、只今仰シヤル人力ニ依ル運送

ノ事業デアリマスノデ、只今御話ノモノハ

大部分入ルコトニナツテ居リマス

○岡崎(憲)委員 項目ヲ分ケテ貨物積卸ノ

事業ト云フ風ニ書イタト同ジヤウニ「平水

區域ヲ航行スル船舶又ハ船舶法第二十條ニ

規定スル船舶ニ依ル運送ノ事業」ト云フコ

トヲ、項目ヲ分ケテ何故御書キニナラナカ

ツタノデアルカ、唯陸上ニ於テ爲ス」ト云

フコトヲ削ツタケデハ、ハツキリシナイ

ト思フノデス、唯勅令ニ依ルト云フ風ニ考

ヘラレルノデスガ、如何デスカ

○川村政府委員 從來貨物積卸ノ事業ニ付

キマシテハ、具體的ノモノハ勅令ヲ以テ指

定ヲ致ス形式ヲ執ツテ居ツタケデ、而モ

陸上ニ於テ爲スモノニ限ツテ居ツタノデア

リマス、今回其ノ陸上ニ於テ爲スト云フ條

件ヲ削リマシテ、運送ノ事業ニ付キマシテ

ハ、水上及ビ空中ニ於ケル運送ノ事業モ含

メルコトニ致シタノデアリマシテ、從來ノ

沿革カラ斯様ナ形式ニナツテ來タ譯デアリ

マス、事實上ノ問題トシテハ殆ド運送事業

ノ大部分ヲ網羅スルノデアリマスケレドモ

ス

○岡崎(憲)委員 (ヘ)ノ貨物積卸ノ事業ト

云フノモ今マデハサウ云フ風ニナツテ居ツ

タノデアリマスガ、茲ニ新シク(ヘ)ト云フ

風ニ項目ヲ掲ゲラレタノデアリマスカラ、

ソレト同ジヤウニ大多數ノ從業シテ居ル所

ノ「平水區域ヲ航行スル船舶又ハ船舶法第

二十條ニ規定スル船舶ニ依ル運送ノ事業」

ト云フ風ニ、之ヲ(ヘ)ト同ジヤウニ、其ノ

次ニ項目ヲ設ケテ何故ヤラナカツタカト云

フコトヲ御聽キスルノデアリマス、勅令ノ

方ニ何故任シタカト云フコトヲ御聽キスル

ノデアリマス

○川村政府委員 平水沿海航路運送事業、

或ハ航空運送事業ト云フヤウナモノハ、結

局何レモ貨物運送ノ事業デアリマスノデ、

大キク分類シマスレバ貨物運送ノ事業デア

リマスカラ、法律上ノ文句トシテハ貨物運

送ト云フコトニシテ置クノガ適當デアル、

其ノ細目ハ別ニ勅令ヲ以テ指定スル方ガ適

當デアルト考ヘテ、左様ナコトニナツテ居

リマス

○岡崎(憲)委員 少シ分ラヌヤウデスガ、

今マデ貨物積卸ノ事業ト云フモノハ勅令ノ

中ニ入ツテ居ツタノデスネ、ソレヲ其ノ中

カラ一ツダケ取ツテ法律ノ中ニ項目ヲ掲

ゲタト云フコトハ、ドウ云フ意味カト云フ

御尋ネデアリマス

○川村政府委員 貨物積卸ニ付キマシテハ、

從來任意包括條件者ヲ規定シテ居リマスル

ニ

ニ

ニ

ニ

第十四條ノ中ニ掲ゲテアリマシタモノヲ、
今回強制條件者トスル爲ニ第十三條ノ方ニ
持ツテ參ツタノデアリマス、從來勅令ニア
ツタモノヲ法律ニ持ツテ來タノデハナイノ
デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○岡崎(憲)委員 ソレト同ジヤウニ所謂港
灣ヲ航行スル船員達ニモ應用スルヤウニハ
ツキリシテ載キタイト思フノデスガ、唯此
處ニ「前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指
定スル事業」ト言ヒマス、ハツキリシナイ
コトニナル、勅令デサウシテ吳レト宜イ
ノデアリマスガ、ヤハリ從來ハ貨物積卸ノ
事業ハ勅令ノ方ニモ入ラスト言ハレタ、「陸
上」ヲ削ラス以上ハ海上ニ適用シナイノデア
リマスカラ、茲ニ陸上ト云フ風ニ規定サレ
テ居リマシタ爲ニ、從來ハ任意デモヤラウ
トシテモ出來ナカッタノデス、モウ少シ申
上ゲマスガ、「勅令ヲ以テ指定スル事業」トア
リマスガ、是ハ此ノ中ニ入ルト云フコトハ
ハツキリシテ居ルノデアリマスガ

○川村政府委員 只今御話ノ平水航路運送
事業ハ航空運送事業ハ運送ノ事業デアリ
マシテ、今回十三條ノ改正ニ依ツテ「陸上
ニ於テ爲ス」ト云フ條件ヲ削リマシテ、陸
上ノミナラズ、水上及ビ空中ニ於ケル運送
事業モ強制スルト云フコトニナルノデアリ
マシテ、其ノ範圍ガ非常ニ廣クナツタ譯デ
アリマス、唯運送ノ事業ハ、細目ハ勅令デ
指定スルト云フコトハ、從來カラサウ云フ
法規ニナツテ居ルノデアリマス、一寸御參
考ノ爲ニ從來ノ法規ヲ讀上ゲマス、十三
條ノ第三號ノ(ホ)デアリマスガ、「(ニ)ニ掲
グルモノヲ除クノ外陸上ニ於テ爲ス貨物又
ハ旅客ノ運送ノ事業ニシテ勅令ヲ以テ指定
スルモノ」斯ウ云フ條文ガアル、其ノ條文ノ

中今回「陸上ニ於テ爲ス」ト云フ文句ヲ削ラ
ウト云フノデス、隨テ其ノ範圍ガ廣クナルノ
デス、其ノ結果今度ハ勅令デ以テ空中ニ於ケ
ル運送ノ事業及ビ水上ニ於ケル運送等ヲ新タ
ニ指定シヨウ、斯ウ云フ譯デス、サウ云フ形式
ハ從來ノ健康保險法ノ建前上、根本的ニ形式
ヲ變ヘナイ以上已ムヲ得ナイノデアリマス

○岡崎(憲)委員 サウスルト貨物積卸ノ事
業ト云フモノハ、新シク此處ニ入ツタ譯デ
スネ、分リマシタ、ソレデ此ノ勅令ヲ以テ
指定スル事業ノ中ニ、此ノ項目ガ要綱ニ掲
ゲテアル所ノモノハ全部入ルト云フコトガ
ハツキリシテ居ルデセウカ

○川村政府委員 ハツキリシテ居ルト思ヒ
マスガ、ソレデハ之ヲ全部序ニ申上ゲマセ
ウ、是ハ大臣モ其ノ要旨ハ御説明ニナツタ
譯デアリマスガ、貨物ノ運送ハ只今申上ゲ
タ通りデアリマス、ソレカラ貨物積卸ノ
事業ハ第十三條ノ「ヘ」ニハツキリ強制適用
事業トシテ新シク掲ゲヨウト云フ譯デアリ
マス、ソレカラ清掃、焼却、屠殺ト云フヤ
ウナ事業ハ、是ハ被保險者ノ數モ極メテ僅
カデアリマスノデ、一々之ヲ法律ニ掲グル
ノモ煩雜デアリマスシ、是等ノモノハ或ハ
又今後適用ヲ必要トスルモノガ現バレテ來
ナイトモ限リマセヌノデ、一括シテサウ云
フモノヲ勅令デ規定ガ出來ルヤウニ、新ニ
「ト」ト云フモノヲ設ケテ、「前各號ニ掲グル
モノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業」ト云フ一
項ヲ設ケタノデアリマス、ソレニ依ツテ此
ノ清掃、焼却又ハ屠殺事業ヲ差當リ指定シ
ヨウト云フ譯デアリマス

○岡崎(憲)委員 甚ダ細カイト相濟ミ
マセヌガ貨物積卸事業ト云フモノニ從事ス
ル所ノ労働者ハ、皆請負業ニナツテ居ルモ
ノガ多イノデアリマス、サウシテ日給デア
リマシテ、所謂日拂ヒノ者ガ多イノデアリ
マスガ、サウ云フ者ニ對シテハドウ云フ風ニ
シテ保險料ヲ徴收サレルノデアリマセウカ

○川村政府委員 現在ノ健康保險ノ被保險
者中ニハ日給者ガ澤山アリマシテ、寧ロ其
ノ方ガ多イノデハナイカト思ヒマスカラ、
其ノ點ハ一向困難ハゴザイマセヌ、唯貨物
ノ積卸ニ從事スル労働者ニ付キマシテハ、
工場労働者ト多少労働事情モ異ツテ居リマ
スノデ、成ベクナラバ健康保險組合ノヤウ
ナ形ニ對シマシテ、自治的ニヤラセタイト
考ヘテ居リマス

○岡崎(憲)委員 此ノ貨物積卸事業ニ從事
スル所ノ労働者ト云フ者ハ、所謂立ン坊ト
云フヤウナ者デ、其ノ日ノニ來ル所ノ者
ガ多イノデアリマシテ、常備ト云フモノハ
極ク僅カデアリマス、ソレデ業者ノ方デ負
擔スル所ノ保險料ト云フモノハ、之ヲ徴收
スルニ非常ニ困難デハナイカト思フノデア
リマスガ、其ノコトハ能ク御研究ノ上、一
ツ之ヲ巧クヤルヤウニ御願ヒ致シマス

○川村政府委員 漁船ニ乗組ム者ニ付キマ
シテハ、御承知ノ通り「トロール」船、或ハ
母船式漁船等ニ付キマシテハ、船員保險法
ガ適用ニナツテ居リマスルガ、一般ノ漁船
ニ付テハ船員保險法ガ適用ニナツテ居リマ
セヌ、又健康保險法モ適用ニナツテ居リマ
セヌ、此ノ漁船ノ乗組員ニ付テ適當ナ保險
制度ヲ創設スベシト云フヤウナ要望ハ、既ニ
前議會ニ於テモ相當ゴザイマシタノデ、當
局ニ於テモ目下頻リニ研究ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、成ベク早く成案ヲ得タイト思
ツテ、折角努力シテ居ル次第デアリマス

○野田委員長 渡邊君
○渡邊委員 今日ノ醫療問題ト云フ點ヲ考
ヘテ見ルト、非常ニ色々重大ナ問題ガアル
ト思ヒマスガ、其ノ問題ハ後廻シニシテ、
直接健康保險ニ關係シタ問題ノミヲ御尋ネ
シタイト思ヒマス

問題ガ非常ニ小サイモノデスカラ、委
員諸君ニ對シテハ甚ダ勇氣ノ毒ダト思ヒ
マスガ、御許シテ願ヒマシテ御尋ネシタ
イト思ヒマス、第一ニ此ノ前ノ委員會ノ
時ニ土屋先輩カラモ言ハレマシタガ、ド
ウモ社會保險ニ對シテ醫者ハ其ノ治療ヲ
良心的ニヤリタイノダケレドモ出來ナイト
云フヤウナ合デ、ドウシテモ治療ヲ良心
的ニヤツテ行ケナイト云フコトハ、實際其ノ
衝ニ當ツテ居ル人ハ誰モガ考ヘテ居ルコト
ダト思フノデアリマス、元ハ醫者ハ頗ル良
心的ナ仕事ヲシテ居タト思ヒマス、其ノ良
心的ナ仕事ヲシテ居タ爲ニ、患者ガ之ニ對
シテ非常ナ感謝ヲ以テ報イテ居タト思フノ
デアリマス、醫師トシマシテモ其ノ感謝ヲ
唯一ノ慰安トシテ、一生懸命職務ニ對シテ
精進シテ來タト思ヒマス、所ガ社會保險ニ

○川村政府委員 漁船ニ乗組ム者ニ付キマ
シテハ、御承知ノ通り「トロール」船、或ハ
母船式漁船等ニ付キマシテハ、船員保險法
ガ適用ニナツテ居リマスルガ、一般ノ漁船
ニ付テハ船員保險法ガ適用ニナツテ居リマ
セヌ、又健康保險法モ適用ニナツテ居リマ
セヌ、此ノ漁船ノ乗組員ニ付テ適當ナ保險
制度ヲ創設スベシト云フヤウナ要望ハ、既ニ
前議會ニ於テモ相當ゴザイマシタノデ、當
局ニ於テモ目下頻リニ研究ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、成ベク早く成案ヲ得タイト思
ツテ、折角努力シテ居ル次第デアリマス

對シテ、サウ云フ善イ風習が無クナツテ來タト云フコトノ爲ニ、土屋君ノ昨日言ハレタヤウナ、請負制度ガドウダト云フ風ナ議論マデ出テ來タノデハナイカト思フノデス、請負制度ト云フヤウナコトニ對シテハ、私ハ反對スル者デアリマスガ、ナゼコンナ弊害ガ起ツテ來タカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、其ノ第一ノ原因ハ今言ツタヤウニ社會保險制度トシテノ醫療ト云フモノガ、頗ル事務的ニナツテ來テシマツタノデアリマス、ナゼソナ風ニ事務的ニナツテ來タカト言ヒマス、醫者ガ良心的ナ治療ガ出來ナクナツタト云フコト、ソレカラ差別待遇ヲシテ居ルコトト、ソレカラ又醫療費ノ問題ダト思ヒマス、ソレカラ次ニ輕費診療——如何ニシテ治療費ヲ安クスルカト云フコトヲ第一ニシテ、治療日數ノ短縮ヲ圖ラナイ、早ク治サウト云フヤウナコトヲ第二ニシテ居ルト云フヤウナ弊害ガアルト思フノデアリマス、是等ノ點ヲ除去シテ行カナカツタナラバ、此ノ社會保險制度ト云フモノハ決シテ圓滿ニ發達シテ行クモノデハナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、コンナ風ニ治療ノ結果ニ對シテ醫者ノ責任ヲ段々薄クナツテ來テ居ルト云フヤウナコトハドウモ宜イコトデヤナイト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ政府ハドンナ御考ヘヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○**議員政府委員** 醫者ガ良心ニ從ツテ十分ナ治療ガ出來ナイト云フコトハ、此ノ委員會ニ於キマシテ先日モ承リマシタヤウナ譯デ、恐ラクハドノオ醫者サンニシマシテモ、技術ガ許シ、財政關係ガ許スナラバ十分ナコトヲヤツテ呉レルダラウト思ツテ居リマスガ、一面ニ於テ技術ノ欲スル儘ニヤレバ

非常ニ醫療費モ嵩ンデ來ルト云フヤウナコトニナリマセウシ、サウ云フコトデオ醫者サンノ方デモヤツテ呉レナイ、ドウシテモオ醫者サンノ方モ二次的或ハ三次的ナ力ヲ以テ彼等ヲ診ルヤウニナルコトモ仕方ナイ、經濟的ノ方面カラ申シマシテサウ云フヤウニ自然ニナツテ來ルノデヤナイカト考ヘテ居リマス、勿論オ醫者サンノ良心ノ啓發ト云フヤウナコトモ必要デアリマセウガ、サウ云フコトダケデ迎モ參リマスマイ、醫療品ノ供給ヲ潤澤ニスルト云フヤウナコトモ必要デアリ、又オ醫者サンニ對スル爾後教育ト申シマセウカ、其ノ後ニ於テ技術ナドガ日進月歩致シテ居ルノニ對シマシテ、十分會得スルノ機會ヲ與ヘテヤルト云フヤウナ方面ノコトモ必要デアラウト思ヒマスシ、更ニモツト社會的ニ言ヘバ、根本ノ問題ハ其ノ醫者ガ十分ニ努メテ呉レルノニ對シテノ報酬ノ問題ニナツテ來ルノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘマス、總テ物質バカリデハ參ラナイノデアリマスケレドモ、又物質ノコトヲ拔キニシテ考ヘル譯ニハ行カナイト思ヒマス、健康保險、其ノ他社會制度ノ上ニ於キマシテモ、其ノ方面ニ出來ルダケ潤澤ニ國家トシテモ出シタイト云フコトモ考ヘテ居リマス、又更ニ被保險者ニ致シマシテモ、或ハ事業主ナドニ致シマシテモ、其ノ資力ガ許スナラバ、ソレ等ノ人々ニモ相當負擔シテ貰ツテ、技術的満足ヲ得タイト云フコトモ考ヘラレマスガ、各勞働者ニ對シテ負擔セシムル限度ト云フモノモ、自ラ其ノ時ノ收入ト睨ミ合セテ限度ガ考ヘラレナケレバナラスト思ツテ居リマス、又國家財政ノ方モ御承知ノヤウニ非常ニ龐大ニナツテ參リマシテ——此ノ醫療費位ハ大

シタコトデハナイデヤナイカト言ヘバ言ヘルノデアリマスケレドモ、各方面デサウ云フコトニナレバ迎モ國家財政ガ持ツテ行ケナイト云フコトニモナリマセウシ、此ノ方面カラモ自ラ限度ガアルト云フヤウナ譯デ、只今其ノ中間ヲ歩ンデ居ルト云フコトデ、全的満足ハ十分ニ得ラレヌカモ知リマセヌガ、保險ノ方ト致シマシテハ、出來ルダケ國家ノ方面デモ多ク支出シ、負擔モ致シマシテ、サウシテ其ノ給與ヲ良クシテ、オ醫者サンノ方面デモ良心ノ啓發ト同時ニ、技術ノ最善ヲ盡サシタイト云フ根本ノ考ヘヲ持ツテ居リマス、只今ハドウモソレ以上ニハ一寸考ヘヤウガナイヤウニ思ツテ居リマス

○**渡邊委員** 先程申上ゲマシタヤウニ治療日數ノ短縮ト云フコトヲ第二ニ置イテ、經費ヲ節約スルト云フコトヲ第一ニ置クト云フ風ニ、今ノ御話デモ取レルノデアリマスガ、現在ノヤウニ人的資源ヲ要望スルコトガ非常ニ強イ場合、又工場能力ヲ極度ニ發揮シナケレバナラスト時期ニ、斯ウシタ方針ヲ執ツテ居ラレルト云フコトハ、私共ドウカト考ヘラレルノデアリマスガ、財政上ドウモ仕方ナイト言ヘバ、時節柄イムヲ得ナイト思フノデスガ、此ノ點ハ政府トシテモ能ク御考ヘニナツテ欲シイト考ヘマス

ソレカラ先程患者ヲ差別待遇スルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、政府ノ方デハ醫者ノ方ニ對シテ健康保險患者、其ノ他ノ保險患者ヲ差別待遇シテハイカスト云フコトヲ言ツテ居ラレマス、醫者トシテハ其ノ政府ノ御指令ヲ體シテ、之ヲ服膺スルト云フ考ヘデ居ルノデアリマスガ、併シ患者ノ方デハ差別待遇サレテ居ルト云フ先入主ガアル

ト思フノデス、實際政府ノヤツテ居ルコトモ醫者ニ差別待遇ヲ要望シテ居ルノデアリマス、詰リ山田君カラモ御話ガ出マシタヤウニ、第一豫防醫學ヲ除外シテ居ル點、ソレカラ結核ハ延長スルコトガ出來ルヤウニナリマシタガ、日限ヲ六箇月ニ切ツテ居ル點、ソレカラ病名ヲ限定シテ居ルコト、ソレカラ一劑主義デアアルコト、詰リ二劑ヤツテモ差支ヘナイコトニハナツテ居リマスガ、例ヘバ十日間投藥致シマシテ、最初ノ五日ハ二劑ヲヤツテモ宜イ、後ノ五日ハ一劑デナクテハイカス、病氣デアリマスカラ、八日間二劑ヲズツトヤツテ居レバ、後ハ急ニ一劑デモ宜イコトモアルノデアリマスガ、一樣ニ査定サレルコトニナツテ居リマス、ソレカラ特殊療法ヲ認メナイ、ソレカラ綜合療法ヲ認メナイ、例ヘテ言ヘバ丹毒ノ場合ニハ血清療法モ必要デアラウ、光線療法モ必要デアラウ、藥物ノ塗布モ必要デアラウ、内服モ必要デアラウ、兎ニ角一ツノ療法デハ安心ガ出來ナイカラ、色々ノ方面カラ其ノ病氣ヲ攻メテ行カウトシテモ、健康保險ノ方ハ一本道ヲ行ク、サウシテソレガ惡カツタラ、又別ノ方面カラ行ケ、健康保險ハソナ風ナ趣旨テヤツテ居ルト思フ、サウ云フ點カラ考ヘテ見テ、是ハ政府ガ差別待遇ヲシロト言ツテ居ルノデアリマス、斯様ナ幾ツモノ差別待遇ヲ色々ヤツテ置キナガラ、醫者ニ對シテハ差別待遇ヲシテハイカスト云ツテ——醫者トシテモ精神的ニハ差別待遇ハ決シテ致サナイノデアリマスガ、併シ患者ノ方デ差別待遇サレテ居ルト是ハ思ハザルヲ得ナイト思ヒマス、ソレハ同ジ患者ガ來テ居タ場合、外ノ患者ニ對シテハヤハリソナ風ナ色々ノ方法ヲヤツテ、サウシテ

少シデモ早く治シテヤラウトシテモ、健康保險ノ患者ニハ一劑シカヤラナイ、アノ患者ニアレダケノコトヲヤツテ居ルノニ、俺ニハ是ダケシカヤツテ居ルナ、ドウ云フ譯ダト云フコトニナルノハハ當然ダラウト思ヒマス、病氣ヲ治スニハ患者ト醫者ト看護者ガ一體トナツテ、其ノ病氣ノ克服ニ全力ヲ擧ゲナクモハナラヌト思フノデアリマス、コンナ風ニ差別待遇ヲシテ居ルト云フコトハドウモ甚ダ寒心ニ堪ヘナイト思フノデス、之ヲ除去スルヤウナ何カ御考ヘガアルカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○總員政府委員 今一々御擧ゲヲ戴キマシタ事柄ノ事實ノ結果ニ付キマシテハ、大體御説明ノヤウナコトハ多分アルト思ツテ居リマス、日限ガ六箇月デ、今度一年マデ行ケル部門モ作りマシタケレドモ、原則トシテハ六箇月打切リト云フコトニナツテ居リマスガ、之ヲ今ノ御説ノ通りニ、ドウモ十分デナイ所打切ツテシマフト云フヤウナコトニモナリマセウガ、今マデノ結果カラ見マシテ、是モ或ハ無理ニ打切ツタダ、無理ニ切上ゲタダト云フヤウナコトニモナルカモ知リマセウガ、實際結果ニ現ハレタ所ニ依レバ、六箇月マデ掛カラズニ一應結束ガ付イテ居ルノガ多イノデアリマス、六箇月ヲ越エテ居ルヤウナコトハ非常ニ少イト云フ統計ニハナツテ居リマスガ、ソレハ續ケテモ先ハ見込ミガナイカラ宜イ加減ノ所打切ツタダト、斯ウ見レバ見エルノデアリマスガ、ドウモサウデナク六箇月マデ掛カラズノガ多イト思ツテ居リマス

又豫防ト云フ方面ガ十分ニ考ヘラレナイ、病氣ニ罹ツテカラハサウ行クノデアアルガ、豫防ノ方ニ力ヲ盡シテ居ラスデハナイカト

云フ御説ハ、先達テモ承リマシタ所ナノデスガ、是等ハ實際程度問題デアリマシテ、豫防ト云フ方ニ多ク力ヲ盡シマス、是マデノ健康保險ハ迎モ持切レヌ、マダ病氣ト云フ程度マデ行カヌ内ニ、又社會的ニ見テ病氣トハ言ヘヌ所ニ多クノ費用ヲ使ツテシマフト云フコトニナリマス、ソコデ防ゲバ病氣ニナラヌカラ宜イデハナイカト云フコトモアリマスガ、多クハソコデ問題ニナルノハ、此ノ間モ例ニ御擧ゲニナリマシタヤウナ、マア神經衰弱デアルトカ、神經痛ノヤウナ狀態ダトカ云ツタヤウナモノデ、病氣デアアルカドウカ一寸境目ノ分リ兼ねルト云ツタヤウナモノニ、随分サウ云フ所ガアルノデヤナイカト思ツテ居リマス、是モ程度問題デ考ヘナケレバナラヌカト思ツテ居リマス、ソナヤウナ譯デ、或ハ是ガ幾ツカノ例ノ中ニハ實情ニ合ハヌモノモアルカト思フデノアリマスガ、是バカリニ力ヲ費スト云フ譯ニモ一寸參リマセヌ譯デアリマス、又一劑主義デ、主ニ二劑以上使フト云フコトハ初ノ方ダケダ、少シ先ニ行ケバ一劑主義ダト云フヤウナ御話デアリマスガ、是モ實情ニ當嵌メテ考ヘマス、モウ少シ永ク續ケレバ宜イデハナイカト云フ場合ガ多クアリ得ルト思ツテ居リマス、唯他面實際査定ナドヲヤツタ結果ヲ聞イテ見マス、モウサウ何時マデモ二劑ヤラスデモ宜イデハナイカト云フノモ入ツテ參リマスノデ、ソレ等ノコトハ大量的ニ取扱フ場合ニハ、或ル時期デ二劑ノ所ヲ打切ルト云ツタヤウナコトニナルト思ツテ居リマス、ソレデ偶、サウ云フ所ガ實際ノ結果ニ現ハレテ面白クナイト云フヤウナ場合モアルダラウト思ツテ居リマス、其ノ場合ニ總テテ盡

スコトニナレバ、或ハ不必要ナ數劑投藥ヲシテ居ルヤウナモノ、之ヲ認メテ行カケレバ總テノ場合ヲ「カバー」スルコトガ出來ヌト云フヤウナコトニナリマス、或ル程度デ切リマス、ドウシテモスコトニ多少ノ無理ガ後ハ殘ル、サウ云フヤウナガ例ニナリ、サウ云フヤウナ所カラ斯ウ云フ事實ガアルニ對シテ、斯ウデヤナイカト云ツテ不平ノ聲ガ上ゲラレル、其ノ現實ノ事實ダケヲ見ルト、確カニ無理ノナイコトデアアルガ、廣イ制度トシテ考ヘル時ニハ、忍ンデ貫ハネバナラヌト云フヤウナ場合モアリマス、或ハサウ云フ缺陷ガアツタカトモ考ヘテ居リマス、特殊療法、綜合療法ナドガ此ノ制度デ認メラレナイデ、ソレガ爲ニ特殊取扱ヲ受ケルヤウナ結果ニナルト云フ御話、洵ニハ御尤モダト存ジマス、是等ノ點ニ付テハ尙ホ保險全體ノ制度トシテ、持ツテ行ケルカ行ケヌカト云フコトヲモ多分ニ考慮ニ入レマスガ、御質問ノヤウナ御趣旨ニ付キマシテハ、良イ方法ガアレバサウ云フコトヲ採用シテ行キタイト云フ根本ノ考ヘヲ持ツテ居リマス、研究致サシテ見タイト思ツテ居リマス

○渡邊委員 實ハ私ハ茨城縣デアリマスガ、茨城縣デ健康保險ノ審査ヲヤツテ居リマシテ、實際ニコンナ風ナ場合ニ度々打突カツテ困ルコトガ多イノデアリマス、ソレデ御伺ヒシタノデアリマスガ、今ノ所ドウシタラ宜イカト云フコトハ、ヤハリ醫師會側トシテモ分ラナイノデアリマスガ、能ク研究シテ何トカ旨イ解決方法ヲ見出シテ戴キタイト云フコトヲ御願ヒ申シタイト思ヒマス、ソレカラ先程結核ノ問題ガ出マシタガ、結核ノ問題ハ健康保險バカリノ問題デナシ

ニ、全國的ノ重大ナ問題ダト思ヒマス、結核ノ療養ニ付テ今度六箇月以上ニ其ノ治療日數ヲ延バスコトニナリマシタガ、此ノ治療日數ヲ延バスコト云フコトハ全ク彌縫的ナコトデ、今少シ根本的ナ對策ヲ講ジナケレバナラヌ重大ナ問題ダト思フノデアリマス、昨年議決シタ國民體力管理法案ノ檢査ノ結果、私共自分デヤツタ少シノ範圍ダケシカ知リマセウガ、「ツベルクリン」反應ヲ見マスルト、陽性ニ出ルト陰性ニ出ルトハ其ノ地方、部落ニ依ツテ違フノデアリマス、或ル部落ハ陽性率ガ強イシ、或ル部落ニハ殆ド陽性ガ出テ居ナイ、陰性ニ出テ居ルト云フ風ニ、部落々々ニ依ツテ陽性率ガ違フト思ヒマス、現在地方農村ニ非常ニ結核ガ蔓延シテ居リマスガ、ソレハドンナ徑路ヲ辿ツテ居ルカト申シマスルト、大抵都會地ノ工場ニ出テ働イテ居テ、サウシテ結核ニ罹ツテ家ニ歸ツテ來タ、サウシテ其ノ家族ナリ、近所ノ者ガソレニ感染シテ結核ニ罹ルト云フ風ナコトガ非常ニ多イノデアリマス、體力管理法ニ依ツテ試驗シタ「ツベルクリン」反應ニ依ツテ見マシテモ、所謂結核ノ處女地、曾テノ結核ノ微菌ガ其ノ地方ニ入ツタコトノナイヤウナ地方ニ、結核患者ガ一人デモ歸ツテ來マス、其ノ地方ニ非常ナ勢ヒデ蔓延シテ來ルノガ事實デアリマス、ソナ點カラ考ヘテ見マス、工場ニ入ツテ居テ結核ニ罹ツタ患者ヲ地方ニ歸サレルト云フコトハ、地方トシテハ非常ニ迷惑ナコトナノデアリマス、ダカラ之ヲ健康保險デ唯治療日數ヲ延バスコト云フコトデナシ、今少シ積極的ニ「ベツド」ヲ作ツテ、ソレヲ收容シテ或ル程度マデ——開放性結核デヤナクナルマデ其處ニ收容シテ置イテ、

開放性結核デナクナツテカラ歸ヘスト云フヤウナ風ニデモヤツタラ一番宜イデヤナイカト思ヒマス、幸ヒ一昨日ノ山田君ノ質問ニ政府ノ答ヘテ言ハレニハ、千二百七十七万圓ト云フ前年度ノ剩餘金ガアルト云フ話デアリマス、之ヲ假令三分ノ一デモ出來レバ全國ニソシテ風ナ結核ノ病床ヲ作ルト云フ方面ニ振向ケルト云フヤウナ御意思ガアルカドウカヲ御伺ヒ致シタイ

費ノ問題デアリマス、先日山田君ノ質問ニ對シテ、政府ハ今度少シ値上シタト云ツテ居リマス、ソレデ大體最低ヲ十五錢、十五錢以下ノ場合ニハ十五錢、一點單價二十錢以上ダツタ場合デモ二十錢打切ルト云フ風ニナツタノダト思ヒマスガ、併シハ或ル府縣デハ、確カニ増額ニナツテ居リマスガ、或ル府縣デハ減額ニナツテ居リマス、先ヅ最低ノ所、一點單價ガ十錢カラ十二三錢位ノ所ハ増額ニナツテ居リマスガ、最高ノ所ハ二十七錢位ノ一點單價ノ所ガアリマス、ソシテ所ハモウ非常ナ減額ニナツテ居リマス、ソレカラ此ノ前ノ御話ニ、今マデノ醫者ハ未收入ガアツタノガ、健康保險ニナルト全部金ガ取レテ、未收入ガナクナツタカラ、ソレデ非常ニ宜イト云フコトヲ言ツテ居リマスガ、併シ未收入ガナクナツタトシテモ、健康保險ニハ御承知ノ通り査定ト云フモノガアリマス、査定ノ比率ヲ見マスト、最低七八分カラ、多イノニナルト三割近クノ査定ヲシテ居ル府縣ガアルヤウデアリマス、サウシテ見ルト、ヤハリ自分デ實際ニ投藥モシ、又治療モシテ居テモ、ソレガ査定ヲサレテ、報酬ガ得ラレナイト云フコトニナレバ、前ノ未收入ガナクナツタヨリモ、或ハヒドイ所ガアリハシナイカト考ヘルノデアリマス、サウスルト一點單價ノ問題ハ、全部入ルカラソレデ宜イト云フ譯ニハ到底行カスト思ヒマス、併シ現在總テノ物價ヲ釘付ケニシテ置イテ、色々ノ値上ト云フヤウナコトハ控ヘナケレバナラヌ、又健康保險ニ對シテモ政府トシテモ、是ヨリ値上スル餘地ガナイト云フ御話デアリマスシ、私共トシテモ是レ以上値上シロト云フコトヲ要望スル譯デハアリマセヌ

ガ、併シ藥價ヲ比較致シテ見マスト、是ハ昭和十三年ニ私ノ知ツテ居ル病院デ調べタ所ニ依リマス

(委員長退席、小野委員長代理着席)

六百十四通ノ處方ニ依ツテ、其ノ調劑ノ藥品ノ數量ト價格ヲ調べテ見マシタ所ガ、全部ノ藥品ノ價格ガ五十七圓六十六錢ニナツテ居リマス、之ヲ一劑ノ金額ニスルト、一劑九錢三厘九毛餘ニナツテ居リマス、ソレハ一昨年デアリマス、ソレカラ見ルト、藥ト云フモノハ非常ニ値上ニナツテ居リマス、ソレカラ又投藥瓶ノヤウナモノモ、戰前ノ約三倍位ノ値上リニナツテ居リマス、政府モ昭和十五年デハ同ジ藥價ハ勿論アリマセヌガ、四回ニ互ツテ藥品ノ値上ヲシテ居リマス、投藥瓶、藥品ノ値上リ、又藥包紙、其ノ他ノ値上リヲ考ヘテ見マスト、ドウシテモ一點三割ノ値上リト見マシテモ、十五錢デハ原價ダケデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、時間ガナクツタ爲ニ餘リ詳シイ調査ハ致シテ居リマセヌガ、例ヘバ投藥瓶ヲ混ゼテ一劑デアリマスカラ、一劑一點十五錢乃至二十錢ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ昭和十五年八月二十七日ノ東京府知事カラノ公報デアリマスガ、一日分ノ瓶ガ一本六錢八厘ニナツテ居リマス、而シテ之ヲ二日分ノ瓶トスルト九錢五厘ニナツテ居リマスカラ、結局三割ノ値上デ、十三錢位ノ原價トシテモ二十何錢ニナルト云フヤウナコトデ、調劑ノ手数料、又診察其ノ他ノ費用モ考ヘテ見マスト、現在東京府ノヤウナモノハ最低十五錢位ノ單價ニ當ツテ居ルヤウデアリマスカラ、サウスルト可ナリ苦シイノデハナイカト考ヘルノデアリマス、ソレカラ又入院料モ地方ノ都會デハ一日二

圓デアリマス、此ノ二圓ノ入院料デ以テ一日ニ三回ノ食事ヲ與ヘ、而モ結核ノヤウナ病氣ニ對シテハ相當ノ榮食食ヲヤラナケレバナラス、其ノ上ニ藥モヤル、ソレカラ注射モシナケレバナラス、而モ注射ヲシテモ今マデハ一時六點マデノ處置手當ハ別ニ請求スルコトガ出來ルト云フコトデアツタノデアリマス、併シソレヲ請求サセタ所ガ非常ナ手数料ガ嵩ンダ爲ニ、今デハソレヲ止メテ居ルヤウナ工合ニナツテ居リマス、斯ウシタヤウナコトヲシテ、一日二圓ノ入院料デ果シテ行ケルカドウカ、現在何モシナイデ、唯一日朝晩飯ヲ食ツテ泊ルダケノ旅館デモ一日二圓デ泊メル所ガアリマセウカ、ソレヲ晝飯マデ食ハセテ、更ニ治療マデシテ、ソレデ一日二圓ノ入院料デヤラセルト云フコトハ、是ハ餘リニモヒドイ犧牲ヲ醫者ニ拂ハセルコトニナルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、是デ又醫者トシテモ食ツテ行カナケレバナラスノデアリマスガ、之ヲ以テ良心的ニ、精神的ニ果シテ何時マデモ健康保險ノ患者ヲ引受ケテヤツテ行クコトガ出來ルカドウカ、此ノ點ニ付テ何カ政府ハ御考ヘニナツテ居ルコトガアルカ、ドウモ費用ガナイカラ出來ナイノデ、現在ノ通りヤツテ行ケト云フ御考ヘデアアルカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○**樞員政府委員** 色々實例ヲ御舉ゲニナツテ御質問デアリマスガ、各方面ニ於テ今日物價高ニ苦ンデ居リマスコトハ、獨リ醫療バカリデナシニ、到ル處ニ今御舉ゲニナリマシタヤウナコトニ類シタ矛盾ト申シマスカ、サウ云フモノガアルコトト存ズルノデアリマスガ、醫療方面ニ於キマシテモ色々ナ物資ガ非常ニ高クナツテ來テ居リ、

○**樞員政府委員** 今ノ結核ノ問題ハ今日ニ於ケル非常ニ大キナ問題ト致シマシテ、獨リ健康保險、其ノ他社會保險デ之ヲ取上ゲテ考ヘルニ止マラズ、一般ノ問題ト致シマシテ十分對策ヲ講ジナケレバナラスト思ツテ居リマス、隨テ其ノ方面ニ今日非常ニ主力ヲ盡シテ居ル譯ナノデアリマス、保險ノ方ト致シマシテハ、本年度ニ於キマシテ東京ニ三百床、來年度ニ於キマシテ大阪ニ更ニ三百床結核ノ病床ヲ設ケタイト云フ考ヘヲ以テ進ンデ居リマスガ、到底此ノ程度ノコトデハ無論全般ニ對シテ十分ニ防ギ切ルト云フ譯ニハ參リマセヌ、一般ノ方ニ付キマシテハ何レ主務局長カラ申上ゲマセウケレドモ、保險ノ方ト致シマシテハ足ラナイナガラモ其ノヤウナ計畫ヲ持ツテ居リマス

○**渡邊委員** 結核ノ問題ハ勿論健康保險トカ、社會保險ノミデ解決スベキ問題デハナイノデアリマスガ、併シ工場労働者ガ結核ニナツタ場合ニ田舎ニ歸ヘスト云フコトハ、先程モ申シマシタヤウニ、其ノ地方トシテハ非常ニ迷惑デアリマスカラ、健康保險ダケデモ之ヲドウニカ今少シ積極的ニヤツテ戴キタイト云フコトヲ、私共念願シテ已マナイモノデアリマス

ソレカラ又先程御話ガ出マシタガ、醫療

第六類第六號 健康保險法中改正法律案委員會議錄 第三回 昭和十六年二月五日

一七

隨テ一點單價ニ對スル金ヲ以テシテハ十分ニ行カナイト云フヤウナコトガ考ヘラレルコトニ付キマシテハ、全ク御同感ナノデアリマス、唯、只今御舉ゲニナリマシタヤウナコトニナリマス、一點ヲ二點ニ増シテモ、其ノ點數ヲ査定ヲ假ニ加ヘナイデ増シマシテモ足ラナイ、却テ減ツテシマフ場合ガアルト云フヤウナコトガ考ヘラレル譯デアリマスガ、ソコマデ實ハ單價ガ低過ギルト云フ風ニハ考ヘテハ居リマセヌデシタガ、特別ナ事情ノアル場所ニ於キマシテハ、ソレニ近イヤウナ現象ガ幾ラモ起ルノデハナイカト云フコトモ考ヘラレマス、殊ニ都會ト地方、一般的ニ申シマズレバ都會ノ方面ガ多ク掛ツテ、地方ノ方ハ掛ラナイト云フヤウナコトニ考ヘラレマスケレドモ、特殊ノ藥ナドニ於キマシテハ必ズシモサウ云フ風ニ參ラヌデ、地方ノ方ガ却テ不利益ナ立場ニナルト云フヤウナコトモ起リ得ルコトト考ヘテ居リマス、一ツノ事情ヲ見マスト、色々ナ場合ガ起リ得ラウト考ヘテ居リマス、昨年ニ於キマシテモ當局ニ於テソレ等ノ事情ニ付テノ色々ナ御陳情モ承ツタリ、ソレカラ又色々ナ調査モ致シテ見マシタ、確カニ御話ヤウナ事情モアリ、又ソレトハ餘程違ツタ事情ノ所モアルヤウデアリマスガ、全國ヲ通ジテ考ヘテ見マサル場合ニハ、ドウシテモ平均的ナ所デ行クヨリ仕方ガナイト云フヤウナコトニナリマス、其ノ平均ノ線ヲ中心ニ或ハ四ミ、或ハ高マルト云フヤウナ凸凹ノ線ヲ描イテ來ル實際狀態ガ現ハレテ參ルダラウト思ツテ居リマス、其ノ下チラニ廻リマシテモ、凸凹シタ所ハ事實ハサウ云フコトガ必要デアルナラバ、ソレニ對シテ何トカ考ヘナケレバ

ナラヌト云フ譯デ、銳意方策ハ研究サセテ居リマス、又ソレガ此ノ保險ノ基礎ヲ危クシナイヤウナ所デ出來マスコトナラバ、實情ニ應ズルヤウニシテ行キタイト云フ基礎ノ考ヘヲ持ツテ居リマスガ、只今ハ洵ニ遺憾ナ話デアリマスケレドモ、具體的ニ是デヤレバ總テガ満足出來ルト云フヤウナ成案モ得テ居リマセヌ、ドウショウカ、ドウ云フ方法ガ宜シイカ、更ニドウ云フ點デ是レ以上ノ工夫ヲ爲シ得ルカ、ト云フコトデ、色々ナ角度カラ手分ケラシテ研究ハ致シテ居ルノデアリマスガ、今舉ゲマシタヤウナ適當ナ案ガアリマシタナラバ、ソレヲ何時デモ採用シテ行キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、幸ヒニ若シソレ等ノ點ヲ考慮ニ入レテ尙ホ十分ニ成立ツテ行ク、而モ良イ御案デモアリマシタナラバ、御示シ願ヘレバ大イニ參考ニ資シテ行キタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○渡邊委員 銳意研究中ト云フ御話デアリマスガ、健康保險ノ基礎ヲ危クシナイ程度ニヤツテ行キタイト云フ、其ノ基礎ト云フモノハ動カスベカラザルモノデアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、私ハヤハリ動カスコトガ出來ルノデハナイカト思ツテ居リマス、政府ノ方デ思切ツテ今少シ補助ヲ出シテ呉レルトカ何トカ云フコトガ出來タラ、實ハ基礎ハ危クナラヌダラウト思フノデスガ、ソナ點ヲ一ツ御考慮ニナツテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレカラ私ガ今申上ゲタノハ、全部デハ勿論ゴザイマセヌ、例ヘバ「トラホーム」ノヤウナモノデ、一遍洗眼シテソレデ一點デアル、是ハモウ小學校ノ生徒ヤ何カダツタ殆ド金ヲ取ラズニ地方ノ醫者ハヤツテ呉レマス、併シ健

康保險デハ一點取ラレル、ソレカラ又指ノ擦過傷ヲヤツタ、「ヨーチン」カ「マーキエロ」デモ塗ツテ置イテ、ソレデヤハリ一點デアルト云フヤウニ一方カラ言フトボロイモノモアル、併シソナノハ大工場ニ接近シテ居ル醫者デアリマシテ、ソナノガ兩方平均サレルカラ、大キナ工場ニ入ツテ二百人モ、三百人モ取扱フト云フ醫者ニ取ツテハ、サウヒドク不利ト云フコトデヤナイカモ知レマセヌ、併シ少數ノ重症ナ患者ノミヲ扱ツテ居ル醫者ト云フモノハ、健康保險ノ患者ヲ扱ツテ行ツタノデハ、ヤツテ行ケナイト私ハ考ヘル、ソレカラ藥品ノ問題デアリマスガ、本月三日ニ政府ハ百十四種ニ付テ大中ノ値上ヲ致シテ居リマス、政府ハ商工省價格形成中央委員會ノ化學品部會ノ答申ニ基イテヤツタト云フコトガ新聞ニ出テ居リマスガ、藥ハ生活ノ必需品ダト思ヒマス、各方面ノ物價ヲ全部釘付ニシテ置イテ、藥品ダケヲ三割モ五割モ値上スル理由ガ私共ニハ分ラナイノデアリマス、戰前カラ申シマスト非常ナ値上リニナツテ居リマス、全部デハアリマセヌケレドモ、大部分ノ藥ハ非常ナ値上リニナツテ居リマス、一番多ク使ハレテ居ル「アルコール」ノヤウナモノモ、以前ハ四十錢カ四十五錢デアリマシタモノガ、今日ハ卸價格デ二圓六錢ニナリマス、小賣價段デハ二圓三十七錢ニナツテ居リマス、又杏仁水ノ如キモ四十三錢デアツタモノガ、一圓六十三錢、隨分ヒドイ値上リニナツテ居リマス、吾々ガ年中使ツテ居ル藥デモ倍、三倍、五倍ニナツテ居ル藥ガ澤山アルト思ヒマス、ソレデ値上リニナラナイモノ、戰前ト殆ド變ラナイモノハ十種類程ナイ位デヤナイカ

ト考ヘルノデアリマス、斯ウシタ値上リヲスルト云フコトハ、現在ノ經濟事情カラ言ツテ果シテ適當ナカドウカト云フコトヲ考ヘルト、非常ニ疑ハシイト思ヒマス、政府ハ色々各方面ノ關係ヲ考慮シテ値上シタト言ツテ居ルノデアリマスガ、併シドウモ餘リ詳シイ考慮ヲシテ居ナイノデハナイカト云フヤウナ考ガスルノデアリマス、此ノ價格形成委員會ト云フヤウナモノニ對シテハ、醫者ノ方カラモ委員ヲ出ス必要ガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、何故カト申シマスト健康保險、社會保險デ、醫者ニ金額ヲ限定シテ、一點單價十五錢以上二十錢ト云フヤウニ限定シテ治療ヲ請負ハセテ置く以上ハ、藥ノ價值ヲ決メルト云フヤウナ點ニ對シテモ、醫者ノ意見ヲ容レル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、政府ハ之ニ對シテドンナ風ナ考ヲ持ツテ居ルカ御伺ヒシタイト思ヒマス、尙又是ハドンナ風ナヤリ方デ價格ト云フモノヲ決メルノカ、原料、製造費、利潤等ダケヲ見テ藥品ノ價格ヲ決メルノカドウカ、此ノ點モ御分リデシタラオ知ラセテ願ヒタイト思ヒマス

（小野委員長代理退席、委員長着席）

○加藤政府委員 只今藥品ノ價格ニ付テノ御尋ネデゴザイマシタガ、品目ハ何レモ御承知カト思ヒマスガ、原料ノ値上リニ基イテ必要ナ限度ノ値上ヲ致シマシタ、モウ一ツハ原料ノ輸入品ガ大部分ゴザイマシテ、輸入價格ノ値上リガ著シイモノガゴザイマスノデ、ソレニ相應スル爲ニ適當ナ價格ヲ決メマシタ結果値上リヲ見タヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、御話ノ中ニモゴザイマシタヤウニ、政府ト致シマシテモ成ベク藥品ノ如キモノノ價格ヲ高メルコトハ避ケタイ

ト思フテ、從來カラ其ノ方針ヲ致シテ居リマスガ、一面又御承知ノヤウニ藥品ノ如キ物ハ國民ノ保健ノ上カラ申シマシテ一日モ缺クベカラザル大切ナモノデゴザイマスノデ、ソレノ生産ナリ、配給ナリノ圓滑ヲ期スルコトモ亦捨テ置キ難イコトデモアリマスノデ、御話ニモアリマシタヤウニ色々ノ角度カラ綿密ニ商工省ト厚生省トガ連絡ヲ致シマシテ、最モ妥當ダト思フ線ニ從ツテ價格ヲ決メテ參ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、今後モ左様ナコトニ致シテ參リタイト存ジテ居リマス、尙ホ價格形成委員會ニ醫師モ入レタラドウカト云フ御意見デゴザイマシタガ、御尤モナ御意見デアリマシテ、現在ハ吉岡彌生先生ガ醫師ノ代表トシテ健力御入リニナツテ居ルヤウニ存ジテ居リマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ、政府ハ色々注意ヲ致シマシテ出來ルダケノコトヲヤツテ居ルヤウナ次第デアリマス、御諒承ヲ御願ヒ致シマス

○渡邊委員 醫者ノ代表トシテ入ツテ居ルト云フ話デアリマスガ、私共不幸ニシテ聞カナカツタノデアリマス、ドウ云フ資格デ入ツテ居ラレルノカ、其ノ點詳シク此處デ御伺ヒスルコトハ遠慮致シマス、他ノ物價デ一時ニ三割モ三割五分モ値上スルト云フヤウナコトダツタラエライ問題ダト思ヒマス、ソレヲ敢テシナクテハナラナカツタト云フコトハ、政府ノ方デモ非常ニ困ル事情ガオアリニナツタト云フコトハ十分御察シ致シマスガ、併シ斯ウシタ大幅ノ値上ヲスル前ニ、何カ政府ノ方デ製造ニ對シテ補助金ヲ出ストカ、或ハ助成金ヲ出ストカ、或ハ適當ナ方法デ——五分ヤ一割ナラマダ分リマシガ、斯ウシタ大幅ノ値上ヲシナイヤウナ

何カ工夫ヲ凝ラシテ戴キタカツタト云フコトヲ特ニ此ノ際御願ヒ申上ゲタイト思フノデアリマス、ソレハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、斯ウシタ大幅ノ値上リガ醫者ノ年中使ツテ居ルヤウナ藥品ニ對シテダシテ出テ來ルト云フヤウナコトニナルト、健康保險ノヤウナコトハ益、困ツテ行キハシナイカト思フ、醫者ト患者ノ間、又廣ク國民衛生上カラ考ヘテモ重大ナ問題ダト思ヒマス、殊ニ國民健康保險ニ大部分入ツテ居ル所ノ大キナ工場ノ職工ナドノ勞働力ト云フ點カラ考ヘテモ重大ナ問題ダト思フノデアリマス、此ノ點ヲ能ク考ヘテ戴キタイ

ソレカラ又藥品ノ問題デアリマスガ、現在非常ニ藥品ガ不足シテ居リマス、是ハ御承知ノ通りデアリマスガ、現在ノ日本ノ國民トシマシテ、物が不足シテ居ルト云フコトハ當然ナコトデアリマシテ、吾々ハモウ物ノ不足ニ對シマシテハ、極力之ヲ怵ヘテ行カナケレバナラスコトハ勿論ダト思ヒマス、併シ他ノ物資ト違ツテ藥ノ不足ニ對シテハ他ノ物資ト同ジヤウニ考ヘルコトガ出來ルカドウカト云フコトヲ考ヘルト、私ハドウモ疑問ダト思ヒマス、例ヘバ酒ノヤウナモノハ一本飲ンデ恰度好イ鹽梅ニ酔フ人ガ、不足ダカラ四分ノ一ニシヨウト云ツタツテ、是ハ我慢ガ出來ルノデアリマスガ、併シ藥トナルト、「グラム」使ハナケレバナラス所ヘ○「五」グラム「使」ヘト言ハレタ所デ、半分デハ效キハシナイノデアリマス、「グラム」使ツテ初メテ適當ナ治療效果ヲ擧ゲルコトガ出來ルノデアリマス、半分ニ節約シタノデハ捨テタト同ジデ何ニモナリハシナイノデアリマス、ガカラ藥ニ節約ト云フコトハ出來ナイノデアリマス、ソシテ又藥ガ不足シ

テ居ルト云フヤウナコトデ、全國ノ醫者ハ誰モ悲慘ナ目ニ遭ツテ居ルト思ヒマス、今色々ノ藥ガ不足シテ居リマスガ、其ノ中デモ殊ニ「燐酸」「コデイン」、「クロロフォルム」、「ヨード」加里、安那加ナドト云フ重要ナ藥ガ非常ニ不足シテ居ルノデアリマス、例ヘバ「クロロフォルム」ガナクテ、手術スルノニ「クロロフォルム」ヲ節約シタト云フコトニナツタラドウナル、「クロロフォルム」ヲ二十「グラム」使フベキ所ヲ十「グラム」使ツタトスレバ、手術ハ痛クテ速モ出來ナイノデアリマス、患者ガ痛クテ暴レルカラ手術ヲ早メテ完全ナ手術ヲシナイデ切上ゲルト云フコトニナツタラドウナル、又「燐酸」「コデイン」ガ不足シテ居ル、非常ニ咳ガ出テ、「燐酸」「コデイン」ヲ投藥スレバ其ノ咳ガスツカリ止マルノニ、ソレガナイカラ使ヘナイトシタラ、其ノ爲ニ一晚中咳ガ出テ心臓衰弱ヲ起シテ死スト云フコトモ當然アリ得ルコトデアリマス、藥ノ不足ニ對シテハ醫者トシテ非常ナ苦心ヲシテ居ルト思ヒマス、例ヘバ「ヨード」加里ノヤウナモノデモ、眼科「ヨード」加里ガナカツタラ、眼ガ治ラナイ病氣ガ澤山アルノデアリマス、ソレヲミスマス唯放ツテ置クコト云フコトハ、醫者トシテ到底出來ナイノデアリマス、國法ヲ犯シテモ、一本六、七圓デ買ヘル「ヨード」加里ヲ五十圓モ六十圓モ出シテ買ツテ使ツテ居ルノデアリマス、併シ是ハ決シテ咎メルコトノ出來ナイ罪ダト私ハ考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ點カラ考ヘテモ、此ノ藥ノ不足ト云フコトニ對シテハ、出來ル限り御骨折ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、人間誰モガ萬一病氣ニナツタ時ノコトヲ考ヘテ一生懸命働イテ居ルノデアリマス、其ノ

病氣ニナツタ場合ノ苦痛モ取り得ナイト云フヤウナ狀態ニスルト云フコトハ、重大問題ダト思フノデアリマス、政府ハ今少シ、少クトモ醫者ノ方面ニ對シテハ積極的ニ豐富ニ藥ヲ供給スルヤウナ方法ヲ考慮シテ欲シイト思フノデアリマス、今少シ現在ヨリモツト藥ガ潤澤ニナルカ、或ハ是カラ先モツト不足シテ行クカ、此ノ點御伺ヒシタイト思ヒマス

○加藤政府委員 今回決定ニナリマシタ藥品ノ値上リガ相當大幅デアツタト云フコトデ段々ノ御話ガゴザイマシタガ、今回價格決定ニナリマシタ品物ハ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、實ハ特殊ノ輸入醫藥品ガ御承知ノヤウニ多イノデアリマシテ、其ノ價格ノ關係デ目立ツテ値上リニナツテ居リマスガ、今日マデ多數ノ品目ニ付テ決定ヲ致シマシタモノノ中ニハ、値下リニナツテ居ルモノモ相當ゴザイマスシ、殊ニ目立ツタ値上リデナイ品物ガ相當アルノデアリマスガ、今回ハ御承知ノヤウナ特別ノ事情デ、大幅ノ値上リニナツタノデアリマス、御話ノ補助金等ヲ醫藥品ノ製造業者ノ方ニ交付スルコトニ依ツテ價格ノ上ルコトヲ抑ヘル等ノコトヲ考ヘタラドウカト云フコトハ、私共モ其ノ問題ニ付キマシテハ、昨年來色々ト考ヘテモ見テ居ツタノデアリマスガ、其ノ實現等ニ付テハ尙ホ色々考究ヲ要スル問題モアリマスノデ、ソレヲ俟ツテ今回ノ價格ヲ決メルト云フコトデハ、又生産配給等ニ重大ナ支障ヲ來シテモイケンナイト云フノデ、御指摘ノヤウナ價格決定ヲ致シタノデアリマス

次ニ醫藥品ノ不足ノ狀況ニ付テノ御尋ネデゴザイマスガ、醫藥品ガ一日モ缺クベカラ

ザル大切ナモノデアルト云フ點ハ御話ノ通りデ、此ノ點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ、實ハ事變以來凡ユル努力ヲ續ケテ今日ニ及ンデ参ツタノデアリマス、即チ生産ノ確保、増産ノ獎勵ト云フヤウナ方面ニ付キマシテモ種々ノ方策ヲ講ジテ居リマスシ、輸入ニ仰ガナケレバ相成ラヌ品目ニ付キマシテハ特別ノ措置ヲ講ジテ、爲替關係等ニモ軍需品ニ準ズルヤウナ扱ヒヲ致シテ居リマスシ、總テ是等ノ生産資材原料等ニ付キマシテハ、物資動員計畫デ特別ノ計ラヒヲ致シテヤツテ居リマス、尙ホ出來マシタ品物ノ配給方面ニ付キマシテモ、是ハ渡邊委員モ能ク御承知カト思ヒマスガ、色色ナ配給機構ヲ考ヘマシテ、出來マシタ品物ガ潤澤ニ配給サレマスヤウニト云フノデ、色々ト苦心ヲ重ネテ参ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、隨テ是モ亦渡邊委員御承知カト思ヒマスガ、中ニハ尙ホ相當ノ不足ヲ告ゲテ居ル品物モアリマスガ、全般ト致シマシテハ、事變直後ノ昨年、一昨年頃ヨリハ、一般醫師ノ入手状況カラ言ヒマシテ、

テハ段々窮屈ニナツテ來テ居ルノデアリマス、今マデハ手持品ガアリ、又醫者ノ方ニモ在庫品ガアツタリシマシテ、ソレデ間ニ合ツテ、友達同士デ繰合セルト云フヤウナコトモアリマシタシ、又闇デモ相當手ニ入ツタノデアリマスガ、現在ニ於テハ、品物ガナクナツタ爲ニ、モウ闇モ段々ナクナツテ來マシテ、ドウシテモ手ニ入ラスト云フヤウナ實情デアリマス、此ノ點ハ御考ヘニナラレマシテ、今少シ潤澤ニナルヤウニ是非御願ヒ致シタイト思ヒマス

ヘモ一割九錢トカ、十錢近ク掛ツテ居テ、醫者トシテハハ投藥瓶、其ノ他ノ手数料ヲ含メテホシノ僅カニシカナラスト云フ時ニ、元賣商ハ五分ノ手数料ヲ取ツテ居リ、道府縣ノ卸賣商ノ組合デハ五分、小賣商ハ一割五分乃至二割ノ手数料ヲ取ツテ居ル、ソレカラ又官報ニモ出テ居リマスヤウニ、例ヘバ亞鉛華澱粉ニ致シマシテモ、製造業者ノ販賣價格ガ五十錢デ、卸商ノ販賣價格ハト云フト、二割増ノ六十錢ニナツテ居リマス、小賣商トナルト七十五錢ニナツテ居リマス、製造業者カラ醫者ノ手ニ入ルマデニ、實ニ五十錢ノ品物ガ七十五錢ノ値段ニナツテ居ルノデアリマス、是ダケノ利潤ヲ見ルト云フヤウナコトハ、現在ノ健康保險ノ患者ヲ取扱ツテ居タノデハ、藥ヲ賣ツタダケノ利潤デハ是ダケノ利潤ニハ私ハナラヌト思フノデアリマス、而モ醫者ノ投藥スル藥ハ商品デハナイノデアリマシテ、治療品デアリマス、其ノ治療品トシテノ値段モ是ダケノ利潤ニハ到底私ハナラヌト思フノデアリマス、斯ウシタコトヲ考ヘテ見マス

ヤウナ點カラ考ヘテモ、非常ニ宜シイノデハナイカト思フノデアリマス、元ハ健康保險ノ患者ヲ診療スルノニ、健康保險用ノ藥ト云フ特ニ安イ藥ガ何方出來テ居タモノデス、惡カラウガ、効カウガ効クマイガ構ハズニ、唯安イ藥ヲ健康保險患者用ノ藥ト云ツテ商人ガ賣リニ來タ、是ハ普通ノ藥ヲ使ツタンデハ割ニ合ハヌカラ、サウ云フモノヲ賣リニ來タノデス、今ハ色々ノ藥ガ拂底シテ、品物ヲ賣拂ツテ、藥屋ニナイモノデアリマスカラ、皆良イ藥ヲ使ハナケレバナラスト云フコトニナツタノデアリマスガ、私共ガ考ヘマスノニ、是ハ是非トモ配給機構ヲ改革スルト云フコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、大體斯ウシタ配給ヲ滑ラカニスルニハ、ヤハリ郡市ノ醫師會ガ、大體各醫者ノ一年間ニ使フ藥ノ目安ヲ取ツテ、ソレヲ郡醫師會ガ、成程彼處ハ專門ガ眼科ダカラ、「ヨード」加里ハ是位使フダラウ、「ジオニン」ハ是位使フダラウト云フ大體ノ査定ヲシテ、ソレヲ縣醫師會ニヤリ、又縣廳ノ方ヘ何郡ノ誰某ト云フ醫者ハドレ位ノ藥ヲ使フト言ツテ、ソレヲ縣廳デ集メテ、サウシテ大體茨城縣ノ醫療用藥品ハ是位ダト云フヤウナコトニ致シマシテ、ソレヲ政府ノ方ヘ持ツテ行ク、政府ノ方デハソレヲ元賣捌ノ方ニ言付ケテ、ソレカラ各醫者ノ方ニ流シテ行ク、ソレハ流スノニハ醫者ノ購買組合モアリマセウシ、又小賣商ノ組合モアリマセウガ、ソナナ風ニ流シテ行ク、今ノヤウナ複雑ナ中間機關ノ多イノヲ避ケテ、ソレヲナクシテ、直接簡單ニ流スヤウニシタ方ガ藥ノ偏在下カ、或ハ賣惜トカ云フヤウナコトガ全然ナクナツテ、非常ニ滑ラカニ行クノデハナイカト思ヒマスガ、コンナ風ナ

稍、改善サレテ居ルノデハナカラウカト思ツテ居リマス、左様ナ話ヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、併シ前途ノ見透シト致シマスルト、時局ノ繼續致シマス限り、俄カニ樂觀スル譯ニモ参リマセヌノデ、今後ハ一段ト此ノ方面ニハ御示シノヤウニ力ヲ盡シテヤツテ参リタイ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

品ノ不足、詰リ醫者ノ手ニ入ラスト云フヤウナコトモ、是ハ足りナイト云フコトガ一番大キナ問題デアリマスガ、併シ配給機構ガドウモ思フヤウデナイ、滑ラカニ行カヌト云フコトガ醫者ノ手ニ中々入ラスト云フコトノ重大ナ原因ノ一ツデハナイカト思ヒマス、今マデノ所デハ、私が申上グルマデモナシニ、醫療品中央配給統制會社ガアツテ、東北ト西部ニ元賣ノ組合ガアリマシテ、其處カラ道府縣ノ卸組合ニ行ツテ、ソレカラ小賣商ニ行クノデアリマスガ、卸商カラ小賣商ヘ醫療品デモ何デモ平均ニ分配シテ行クヤウナ工合ニナツテ行クノデアリマス、普通ノ賣藥デナシニ、醫療品ト云フモノハ特別ノモノデアリマスカラ、總テノ小賣商ガ醫療品ヲ取扱フカト言ヘバ、之ヲ取扱フノハ其ノ中ノ極ク僅カノ者シカ取扱ツテ居ナイノデアリマス、ソレニ平均ニ分ケテ居ルモノダカラ、片方ニハ何時マデモ賣レナイデ居ルト云フヤウナコトデ、ソレガ滑リノ非常ニ惡イ一ツノ理由デハナイカト思フノデアリマス、サウシテ而モ先程モ申上ゲマシタヤウニ、一昨年ノ一月サ

テ、中間機關ノミ生カシテ居ルヤウナ機構ニナツテ居ルノデハナイカト思フ、今少シ製造業者並ニ需要者ニ利益ガアルヤウナ、平均シタ滑ラカナ機構ニシテ置クト云フコトガ是非必要デヤナイカト思フノデアリマス、若シ之ヲ別ナ方法デ、醫者ト云フヤウナ大口ノ消費者ニハ、製造業者カラ直接來ルト云フヤウナコトニナレバ、少クトモノ一割前後ノ利益デ醫者ノ方ニ廻ルト云フヤウナ點カラ考ヘテ行クト、先程申シマシタヤウニ、健康保險ノ患者ヲ診療スルト云フ

ハナイカト思フノデアリマス、元ハ健康保險ノ患者ヲ診療スルノニ、健康保險用ノ藥ト云フ特ニ安イ藥ガ何方出來テ居タモノデス、惡カラウガ、効カウガ効クマイガ構ハズニ、唯安イ藥ヲ健康保險患者用ノ藥ト云ツテ商人ガ賣リニ來タ、是ハ普通ノ藥ヲ使ツタンデハ割ニ合ハヌカラ、サウ云フモノヲ賣リニ來タノデス、今ハ色々ノ藥ガ拂底シテ、品物ヲ賣拂ツテ、藥屋ニナイモノデアリマスカラ、皆良イ藥ヲ使ハナケレバナラスト云フコトニナツタノデアリマスガ、私共ガ考ヘマスノニ、是ハ是非トモ配給機構ヲ改革スルト云フコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、大體斯ウシタ配給ヲ滑ラカニスルニハ、ヤハリ郡市ノ醫師會ガ、大體各醫者ノ一年間ニ使フ藥ノ目安ヲ取ツテ、ソレヲ郡醫師會ガ、成程彼處ハ專門ガ眼科ダカラ、「ヨード」加里ハ是位使フダラウ、「ジオニン」ハ是位使フダラウト云フ大體ノ査定ヲシテ、ソレヲ縣醫師會ニヤリ、又縣廳ノ方ヘ何郡ノ誰某ト云フ醫者ハドレ位ノ藥ヲ使フト言ツテ、ソレヲ縣廳デ集メテ、サウシテ大體茨城縣ノ醫療用藥品ハ是位ダト云フヤウナコトニ致シマシテ、ソレヲ政府ノ方ヘ持ツテ行ク、政府ノ方デハソレヲ元賣捌ノ方ニ言付ケテ、ソレカラ各醫者ノ方ニ流シテ行ク、ソレハ流スノニハ醫者ノ購買組合モアリマセウシ、又小賣商ノ組合モアリマセウガ、ソナナ風ニ流シテ行ク、今ノヤウナ複雑ナ中間機關ノ多イノヲ避ケテ、ソレヲナクシテ、直接簡單ニ流スヤウニシタ方ガ藥ノ偏在下カ、或ハ賣惜トカ云フヤウナコトガ全然ナクナツテ、非常ニ滑ラカニ行クノデハナイカト思ヒマスガ、コンナ風ナ

○渡邊委員 極力努力シテヤツテ下サルト云フコトデアリマシテ、是非御願ヒ申上ゲタイト思ヒマス、併シ一昨年事變當初ノ頃ヨリモ藥ノ廻リハ宜クナツタラウト云フ御話デアリマスガ、併シ實際問題ト致シマシ

テハ段々窮屈ニナツテ來テ居ルノデアリマス、今マデハ手持品ガアリ、又醫者ノ方ニモ在庫品ガアツタリシマシテ、ソレデ間ニ合ツテ、友達同士デ繰合セルト云フヤウナコトモアリマシタシ、又闇デモ相當手ニ入ツタノデアリマスガ、現在ニ於テハ、品物ガナクナツタ爲ニ、モウ闇モ段々ナクナツテ來マシテ、ドウシテモ手ニ入ラスト云フヤウナ實情デアリマス、此ノ點ハ御考ヘニナラレマシテ、今少シ潤澤ニナルヤウニ是非御願ヒ致シタイト思ヒマス

ヘモ一割九錢トカ、十錢近ク掛ツテ居テ、醫者トシテハハ投藥瓶、其ノ他ノ手数料ヲ含メテホシノ僅カニシカナラスト云フ時ニ、元賣商ハ五分ノ手数料ヲ取ツテ居リ、道府縣ノ卸賣商ノ組合デハ五分、小賣商ハ一割五分乃至二割ノ手数料ヲ取ツテ居ル、ソレカラ又官報ニモ出テ居リマスヤウニ、例ヘバ亞鉛華澱粉ニ致シマシテモ、製造業者ノ販賣價格ガ五十錢デ、卸商ノ販賣價格ハト云フト、二割増ノ六十錢ニナツテ居リマス、小賣商トナルト七十五錢ニナツテ居リマス、製造業者カラ醫者ノ手ニ入ルマデニ、實ニ五十錢ノ品物ガ七十五錢ノ値段ニナツテ居ルノデアリマス、是ダケノ利潤ヲ見ルト云フヤウナコトハ、現在ノ健康保險ノ患者ヲ取扱ツテ居タノデハ、藥ヲ賣ツタダケノ利潤デハ是ダケノ利潤ニハ私ハナラヌト思フノデアリマス、而モ醫者ノ投藥スル藥ハ商品デハナイノデアリマシテ、治療品デアリマス、其ノ治療品トシテノ値段モ是ダケノ利潤ニハ到底私ハナラヌト思フノデアリマス、斯ウシタコトヲ考ヘテ見マス

ヤウナ點カラ考ヘテモ、非常ニ宜シイノデハナイカト思フノデアリマス、元ハ健康保險ノ患者ヲ診療スルノニ、健康保險用ノ藥ト云フ特ニ安イ藥ガ何方出來テ居タモノデス、惡カラウガ、効カウガ効クマイガ構ハズニ、唯安イ藥ヲ健康保險患者用ノ藥ト云ツテ商人ガ賣リニ來タ、是ハ普通ノ藥ヲ使ツタンデハ割ニ合ハヌカラ、サウ云フモノヲ賣リニ來タノデス、今ハ色々ノ藥ガ拂底シテ、品物ヲ賣拂ツテ、藥屋ニナイモノデアリマスカラ、皆良イ藥ヲ使ハナケレバナラスト云フコトニナツタノデアリマスガ、私共ガ考ヘマスノニ、是ハ是非トモ配給機構ヲ改革スルト云フコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、大體斯ウシタ配給ヲ滑ラカニスルニハ、ヤハリ郡市ノ醫師會ガ、大體各醫者ノ一年間ニ使フ藥ノ目安ヲ取ツテ、ソレヲ郡醫師會ガ、成程彼處ハ專門ガ眼科ダカラ、「ヨード」加里ハ是位使フダラウ、「ジオニン」ハ是位使フダラウト云フ大體ノ査定ヲシテ、ソレヲ縣醫師會ニヤリ、又縣廳ノ方ヘ何郡ノ誰某ト云フ醫者ハドレ位ノ藥ヲ使フト言ツテ、ソレヲ縣廳デ集メテ、サウシテ大體茨城縣ノ醫療用藥品ハ是位ダト云フヤウナコトニ致シマシテ、ソレヲ政府ノ方ヘ持ツテ行ク、政府ノ方デハソレヲ元賣捌ノ方ニ言付ケテ、ソレカラ各醫者ノ方ニ流シテ行ク、ソレハ流スノニハ醫者ノ購買組合モアリマセウシ、又小賣商ノ組合モアリマセウガ、ソナナ風ニ流シテ行ク、今ノヤウナ複雑ナ中間機關ノ多イノヲ避ケテ、ソレヲナクシテ、直接簡單ニ流スヤウニシタ方ガ藥ノ偏在下カ、或ハ賣惜トカ云フヤウナコトガ全然ナクナツテ、非常ニ滑ラカニ行クノデハナイカト思ヒマスガ、コンナ風ナ

方面ニ政府トシテ御考ヘテ持ツテ居ラレル
カドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○加藤政府委員 現在ノ配給機構ハ昨年ノ
五月カラ實施ヲ致シテ參ツテ居リマス、御
承知ト存ジマスルガ、大體ハ從前ノ藥ノ流
レ方ヲ建前ニ致シマシテ、中央、地方、小賣
ト云フヤウナ徑路ヲ取ツテ、從前ノ姿ヲ其
ノ儘ニ機構ニ取ツタヤウナヤリ方デ流シテ
居ルノデアリマス、途中デ段々ト各方面ノ
意見等モアリマシテ、一旦決メマシタ配給
機構デモ改ムベキモノハ改メテ、巧ク行ク
ヤウニスルノガ、私共ノ念願デモゴザイマ
スノデ、今日マデ昨年來色々ナ點デ改正ヲ
加ヘテヤツテ參ツテ居ルノデアリマス、兎モ
角モ此ノ配給制度ニ依リマシテ、ソレマデ
ハ全ク困亂狀態ト申シマスカ、暗闇デ、ド
ウシテ藥ヲ手ニ入レヨウカト云フ一般ノ不
安狀況ガ一掃サレマシテ、兎モ角モ少イナ
ガラモ斯ウ云フ徑路デ斯ウシテ行ケバ手ニ
入ルノダト云フヤウナ恰好ニナツテ居リ、
一面生産ノ増加ヲ圖ルコトニ依ツテ、先程
申上ゲマシタヤウニ、稍、持直シテ來テ居ル
ノデハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、
現在ノ配給機構ノ中デ、醫師側カラ御覽ニ
ナリマシテ、尙ホ改正スベキ點ガアルノデ
ハナカラウカト云フヤウナ御話ハ最近チヨ
イチヨイ承ツテ居リマス、只今申上ゲマシタ
ヤウニ巧イ方法ガゴザイマスレバ、逐次改
善ヲ致シマシテ、要ハ一ツ適時必要ナル藥
ガ配給サレマスルヤウニ、品物全體トシテ
ハ御話ノ通り不十分デアリマスカラシテ、
事變前ノヤウニ潤澤ニ廻セト仰シヤツテモ、
是ハドウモ難カシイ話デアリマスルガ、乏
シイナガラモ工合好ク廻ツテ行クヤウニス
ルコトニハ、政府ト致シマシテモ今後一層

注意ヲ拂ツテ參リタイ、斯様ニ存ジテ居リ
マス

○渡邊委員 大體私ノ質問ハ是デ終リマス
ガ、今マデノ惡イ所ヲ改正スルト云フ御話
デアリマスカラ、是非研究ノ上修正シテ戴
キタイト思ヒマス、今マデノ配給機構ニ依
リマス、醫療品ヲ扱ツテ居ル小賣業者ハ、
藥種商ノ中デモ極ク少數デハナイカト思ヒ
マス、ソレヲ一様ニ流スモノダカラソコニ
滞荷ガ出來ル、サウシテ流シテ行ツテ倉
藏ツテ置クト、段々藥品モ古クナツテ效カ
ナクナツテ來ル、品物ガ多イ時ニハソレデ
モ宜イノデアリマスガ、殊ニ少イ時ニハモ
ウサウシタコトヲ極力避ケテ、滑ラカニス
ツト下マデ通ルヤウナ機構ニ是非速カニ改
善シテ戴キタイト云フコトヲ特ニ私ハ御願
ヒ申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ打切りマス
○山田(清)委員 關聯シマシテ——渡邊君
ノ質問ノ配給機構ノ問題ニ關聯シテモウ一
應政府委員ノ所見ヲ承リタイ、藥ガ足ラス、
ソレニ依ツテ治療上非常困ニル問題ガ起ル、
殊ニ衛生材料ハ又實ニ困ルノデス、外傷患
者ガ出テモ纏帶ナンカガ一ツモナイ、ミス
ミス手ヲ束ネテ慘狀ヲ見テ居ナケレバナラ
ヌ、私等ハ毎日三百人位ノ患者ヲ診テ居ル、
私自身ハ取扱ツテ居リマセヌケレドモ、
私ノ經營シテ居ル所デハ兩方デ約五百人位
ノ患者ヲ取扱ツテ居ル、所ガ衛生資材ガ非
常ニナイノデ、外科患者ノ多イ所デハ頗ル
弱ツテ居ル、ソレカラ藥品ノ缺乏ニ對シテ
渡邊委員カラ實際ノ體驗ヲ交ヘテ御話ガア
ツテ、私も亦極メテ深刻ナ感ジヲ持ツテ居
ル、之ニ對シテ配給機構ノ圓滑、ソレカラ
必要ナル藥品ハ——藥品不足ノ中デ出來ルダ
ケ辛抱スルガ、是ハドウシテモ確保シナケ

レバナラス、ソレデナケレバ國民ノ治療上
絶對ニ困ルノダト云フ渡邊君ノ全ク悲痛ナ
叫ビヲ聽イテ、私極メテ感ガ深イノデアリ
マスガ、之ニ對シテ政府當局ノ答辯ハ洵ニ
要領ヲ得タヤウナ、得ナイヤウナ所謂口頭
答辯ニ終ツテ居ルヤウニ——私トシテハ深
刻ナ感ジヲ持ツテ聽イテ居ル爲カ、其ノ答
辯ガ生緩イヤウニ思フノデス、其ノ感ジハ
痛サヲ餘計感ジテ居ル人間トスレバ已ムヲ
得ナイト思フノデス、ソコデ第一ニ斯ウ云
フコトヲ考ヘテ見タラドウデセウカ、ソ
ナコトハモウ當方デ考ヘテ居ルト云フ御答
辯ガアルカモ知レマセヌケレドモ、藥品ノ
確保ニ付テハ、第一ニ直接治療ニ當ツテ居
ル醫者ノ方ヘ流シ、第二ニハ賣藥其ノ他ノ
方面ヘ流ス、是ハ私ハ此ノ觀點ガ一番必要
ダト思フノデス、賣藥ノ製造ニ對スル藥品
原料ハ隨分アリマス、ソレヲ賣藥其ノ他ノ
方面ニ利益ガアルカラト云ウテ、製藥業者
ハソチヲ方ヲ餘計造ルノデハナイカ、ソ
ツチヘ先ニ流シテ、サウシテ醫者ノ實際必
要ナル藥品ヲ第二次的ニ考ヘルト云フコト
ハ、是ハヤハリ、賣藥ヤツテ居ル藥種商
トシテハ當然ダラウト思フノデス、此ノ點
ヲ第一ニ醫者ノ方ニ流ス藥品ニ付テ之ヲ確
保スルト云フコトヲ考ヘテ、第二義ニ賣藥
其ノ他ノ問題ヲ考ヘル、サウスルト醫者ノ
方ニドレダケノ藥品ガ要ルカト云フコトガ
分ラヌデハナイカ、斯ウ云フコトニ對シテ
ハ渡邊委員ノ御話ノ如ク、大體流行リ廢リ
ノアル醫者モ相當アリマスケレドモ、郡市
醫師會ニ於テ誰ソレ醫者ハ月ニドレ位使ツ
テ居ルト云フ大體ノ目安ヲ立テテ、郡市醫
師會デ表ヲ作ラセテ、ソレヲ大體縣デ支配
シテ居リマスカラ見ルコトガ出來マス、ソレ

ガ盛上ツタ所ニ總數量ガ分リマス、所ガ總數
量ハ分ツテモ、從來ハ渡邊君ノ言フヤウニ特
ニ醫者ニ出入ノ藥種商ハ一割カニ割シカナ
イ、ソレハ力ガ餘リナイ、其ノ人々デ醫者ノ
方ニ確保シテ行カウトシテモ中々旨ク行カ
ヌ、デアルカラ是ハヤハリ醫者ハ醫者ノ方デ
一ツノ法人團體ガ出來テ居ツテ、其ノ中ニ
利用組合ガ出來テ居ルノデアリマスカラ、斯
ウ云フ方面ヲ十分活用スル、利益トカ、利益
デナイトカ、サウ云フ問題ハモウ枝葉末節ノ
問題デ、高カラウト安カラウト、ヤハリ必
要ナモノハ確保シナイトドウモ仕様ガナイ、
諸君ガ可愛イ子供ヲ持ツテ居ル、其ノ可愛
イ子供ガ病氣ニナル、所ガソレヲ治スノニ
鐵砲玉ナクシテ兵隊ガ戰場ニ行クヤウナモ
ノデ、藥ガナイ、衛生材料ガナイデハ困ル、
ミスノ自分ノ最愛ノ子供ノ死スノヲ見テ
居リナガラ、治療手當ガ出來ナイト云フコ
トハ、治療スル醫者ノ方ノ心境カラスルト、
實ニ悲慘デアアル、ノミナラズ最愛ノ子供ガ
死スノ臨終ノ所ニ打突カツテ居ル親心
ハ實ニ悲慘デアアル、是ハ政府ト云ハズ、民
間ト云ハズ、親トナリ、兄弟トナリ、子供
トナルト、此ノ問題ニ付テハ實ニ吾々ガ説
明ノ出來ナイ程悲慘デアアル、之ヲドウスレ
バ宜イカ、藥種商ガドウデアラウトカ、配
給ガドウデアラウトカ、サウ云フ風ノ從來
ノ惡イ慣習ト云フモノハ今日ノ統制時代、
新體制ニ於テ全部御破算ヲ致シテ之ヲヤル
ト云フ熱意ヲ政府ガ持ツカ持タヌカト云フ
コトニ吾々ノ心配ガアル、渡邊君ハ實際ノ例
ヲ舉ゲテ頻リニ説明ヲシタガ、之ニ對スル
政府當局ノ御答辯ハ、今子供ガ死ヌカ生キ
ルカト云フ現場ニナツテ考ヘラレテ居ルヤ
ウナ政府ノ眞劍サハ現ハレテ居ラヌト思フ、

唯答辯技術が上手デ、答辯技術デオ茶ヲ濁サウト云フヤウニ私等ニハ考ヘラレル、私等ニハソレハ面白クナイ、汗ヲ流シテ質問ヲシテ居ルノデアリマスカラ、モウ少シ眞劍ニ渡邊君ノ御示シナツタ案ハ善イトカ惡イトカ答ヘレバ、ソレデ宜イト思フ、渡邊君ハ相當ノ研究ヲ持ツテ居リ、又是ハ醫師會全體ノ總意デアアル、醫師會全體ノ總意ト云フモノヲ渡邊君ガ議員ナルガ故ニ代表シテ、此處デ議論シテ居ルノデアツテ、私モ醫師會ノ一人デアアルガ、國民代表トシテ此處ニ質問シテ居ルノデアアル、此ノ渡邊君ノ質問シタル所ノ配給機構ニ對シテ流スカ流サスカ、利用組合ヲ作ツテヤルカヤラスカ、斯ウ云フコトハ醫師會全體ノ輿論デアアル、之ニ對スル政府當局ノ御答辯ハ、ソレハ考ヘテ見ヨウ、良イ案ガアツタラ御示シヲ願ヒタイト云フヤウナコトデハ、ドウモ私ハ其ノ熱意ニハ少シ満足シナイノデアリマス、重ネテ伺ヒマス

○加藤政府委員 藥品ノ配給方法ニ付テ醫師會側ノ意見ダト云フ御話デ段々御意見ヲ承ツタノデアリマスガ、實ハ私共ハ近頃書キ物ニ致シマシタ醫師會トシテノ御希望ノ點ヲ頂戴致シテ居リマス、ソレニ基イテ其ノ通りニ出來ルカ出來ナイカ、何カ旨ク行ク方法ガナカラウカト云フ點ヲ今考ヘテ居ルト云フコトヲ、實ハ申上ゲヤウガ下手ナノデハツキリシナカツタノカモ知レマセス、只今折角研究ヲ致シテ居リマス、其ノ通りニ致シマストハ一寸申上ゲ兼ねマスガ、研究ヲ致シテ何カ旨ク行クヤウナ方法ヲ考ヘタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○土屋(清)委員 一昨日二、三點質問致シマシタガ、其ノ後少シク調べマシタ結果、

補足的ニ尙ホ御尋ネシタイ問題ガアリマス、山田委員、渡邊委員カラ御質問ノアリマシタ點ハ、重複ニ互リマスカラ避ケマス、第一ニ御尋ネ致シタイノハ、私ノ調べマシタ所ニ依リマス、健康保險ヲ擔當スル醫師ガ、全國醫師ノ約半數位シカナイ、健康保險ハ御承知ノ通り社會保險ノ中心デアリ、又保險醫療ノ根幹ヲ成スモノデアリマシテ、最初作リマシタ當時ノ考ヘハ、醫師會ニ於キマシテハ、成ベク總テノ醫師ヲ保險醫ニシテ、總テノ被保險者ガ自由ニ其ノ醫師ヲ選擇シテ治療ヲ受ケラレルヤウニスル、ソコデ所謂團體自由主義ト云フモノヲ執ツテ參ツタノデアリマスケレドモ、只今ノヤウニ半分シカ保險醫ガナイト云フ實情デハ、初メノ趣旨トハ段々遠ザカツテ來テ居ルノデハナイカ、其ノ原因ヲ調べテ見マス、良心的ノ醫師ハ色々ナ事情カラ段々健康保險ノ醫療ヲヤリタガラナイヤウニナツテ居ル、是ガ一ツデスガ、モウ一ツハ、政府ト契約致シマシタ醫師會ガ、保險醫ニ付テ色々ナ制限ヲ設ケル、是ガモウ一ツノ原因デアラウト思フ、例ヘバ醫師法デ醫師ハ開業届ヲ出セバ其ノ日カラ直グ一般患者ノ治療ガ出來ルノニ、保險醫ノ方ハ三箇月以上經タナイト、醫師會デ保險醫トシテノ手續ヲシナイ、其ノ上ニ三箇月以上經ツテモマダ其ノ手續ヲシナイ、先達テモ私が申シマシタガ、役員ノ選舉トカナントカ、色々ナコトニ依ツテ之ヲ制限シ、甚シイノハ一年シテモ其ノ手續ヲシナイヤウナコトガアル、ソレカラモウ一ツ、診療所取締規則ニ依ツテ、病院デナイモノデモ九名マデハ自分ノ診療スル患者ヲ自宅ニ收容スルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノニ、健康保險ノ患者ハ病院デナ

ケレバ收容サセナイ、政府ヤ醫師會側ニ聽クト、ソレハ健康保險患者ト普通患者トハ違フ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ラレマスガ、サウ云フ風ニ差別スルコトハナイデヤナイカ、成ベク健康保險ノ患者モ、普通ノ患者モ診療其ノ他ニ付テ差別ノナイヤウニシテ行クコトガ望マシイコトデヤナイカ、此ノ點ヲドウ云フ風ニ御考ヘデアリマスカ、サウ云フ風ニ段々保險醫ガ醫者ノ總體ノ數ニ比シテ少クナツテ參リマス爲ニ、健康保險ノ被保險者ガ——或ル地方ニ於テ相當開業醫ハアツテモ、保險醫ガナクナツテシマフ、ソコデ被保險者デアリナガラ、醫者ガ居リナガラ健康保險ノ患者トシテ醫療ヲ受ケルコトガ出來ナクテ、自費デ醫療ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ狀態ガアル、是ハドウシテモ健康保險ノ患者デアル以上ハ、保險ノ醫療ヲ何處デモ醫師ノアル所ニ於テハ受ケラレルヤウニシテ行クコトガ望マシイコトデアアル、斯ウ考ヘル、殊ニ段々新シイ保險制度ガ出來テ參リマス、國民ノ大部分ガ保險醫ノ醫療ヲ受ケルコトニナリマスカラ、其ノ根幹ヲ成ス所ノ健康保險醫ガ、今ノヤウニ色々ナ支障ガアツテ普及シナイト云フコトデハハイケンナイト思ヒマス、是ハサウ云フ制限ヲナクスルコトガ必要デハナイカト思ヒマスルガ、此ノ點如何デアリマスカ、ドウシテモ此ノ制限ヲ設ケテ置カケレバナラスノデアリマスカ、若シサウデアルナラバ其ノ理由ハドウ云フノデアリマスカ

○木村政府委員 健康保險醫ノ増加ニ付キマシテハ、昨年來特ニ其ノ點ニ力ヲ入レテ居リマシテ、最近ノ報告ニ依リマシテモ、各地方トモ私共ハ實ハ醫者ガ全部保險醫ニナツテ戴キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

今差別待遇ノ御話ガアリマシタガ、健康保險ノミナラズ、職員保險或ハ國民保險、各種ノ社會保險ガ續々出來テ居リマスカラ、其ノ方面ヲモ考ヘマス、益々全部ノ醫者ガ保險醫ニナルト云フコトヲ吾々ハ理想ト致シマシテ、ソレデ從來極メテ健康保險ノ保險經濟ガ惡カツタ時代ニ於テ已ムヲ得ズ執ツタ非常的ナ、一時的ナ便法ノ手段ノ爲ニ差別のナ處置ガ講ゼラレタト思ヒマスガ、サウ云フ非常ナ便宜ノ手段トシテ執ラレタコトハ此ノ際ハ除去致シマシテ、本來ノ本筋ニ戻リマシテ、出來ル限り保險經濟ノ基礎ヲ危クシナイ限度ニ於キマシテ正鵠ヲ診療ガ行ハレルヤウニ診療組織ニ付キマシテモ現ニ考究中デアリマス、將來モ能ク組織ヲ考究シテ行キタイト思ヒマス

○土屋(清)委員 サウ致シマス、今後保險醫ニ新タニナルニ付テ、今醫師會デヤツテ居リマスヤウニ開業シテモ三箇月以上經タナケレバ志望シテモ保險醫ニシナイ、或ハ自分ノ診療居ル患者ヲ、病院デハアリマセヌケレドモ、收容スル部屋ヲ持ツテ居ル者ガ普通ノ患者ナラバ收容出來ルガ、保險醫デハ出來ナイト云フ此ノ制限モ改メルト云フコトニ承知致シテ宜シウゴザイマス

○木村政府委員 成ベク能ク具體的ニ研究致シマシテ、サウ云フ障礙ハ出來得ル限り除去致シタイト考ヘテ居リマス

○土屋(清)委員 ソレカラ一昨日一寸伺ツタノデアリマスガ、政府管掌ノ健康保險ノ契約ヲ、政府ト日本醫師會トデアル、之道府縣醫師會ト契約ヲサセテハドウカト云フコトヲ申シマシタガ、ソレニ付テハ御同意ノヤウナ御意見ガナカツタヤウニ承リ

マスガ、保險醫ノ方カラ見マス、是ガ中々煩ハシイヤウデアリマス、例ヘバ保險ノ醫療費ヲ請求シマシテカラ、保險醫ノ手ニ入ルマデニ約五箇月掛ル、先ヅ保險醫ガ郡市區醫師會ニ請求スル、ソレカラ道府縣醫師會ニ行ク、道府縣醫師會デ査定シテ、日本醫師會ニ廻ス、日本醫師會ハ全國ノ各道府縣醫師會カラ査定ノ結果ノ集ルヲ待チマシテ、ソレデ一點平均單價ヲ算出シテ、ソレニ依ツテ報酬ヲ決メテ、各道府縣醫師會ニ送り、道府縣醫師會カラ郡市區醫師會ニ送り、郡市區醫師會カラ初メテ保險醫ニ行ク、其ノ間約五箇月、隨テ多數ノ健康保險患者ノミヲ扱フ地方ノ醫者ト云フモノハ、丁度昔ノ盆暮ノ支拂ヲ受ケルヤウニ五箇月間ト云フモノハ支拂ヲ受ケラレナイ、是ハ保險醫トシテハ中々痛イコトデアリマスシ、其ノ間ノ損失、若シ借リテ支拂ツテ居レバ、其ノ利子ノ損失モ相當ナ額デアツテ、其ノ利子ヲ利得スルモノトシテハ醫師會ガ之ヲ利得スル、サウ云フ譯デ事務費モ非常ニ多クナツテ、而モ大部分日本醫師會デ使ハレテシマツテ居ル、ソレカラ組合トノ契約ノ場合モヤハリ全國ノ健康保險ノ聯合會ヲ經ナケレバナリマセヌカラ、何カ事ガアリマシテモ保險醫カラ郡市區醫師會、道府縣醫師會、日本醫師會ニ行ツテ、ソレカラ健康保險ノ聯合會ノ方ニ廻ツテ、今度又聯合會ノ方カラ日本醫師會ニ行ツテ、道府縣醫師會ニ行キ、段々下方ニ行クノデ、非常ニ手數ガ掛ル、事務ガ煩雜ニナツテ期間ガ延ビテ、サウシテ費用ガ掛ル、先年國民健康保險法ヲ布キマシタ時ニハ、成ベク地方ノ實情ニ即シテヤルト云フコトデ、市町村單位デ組合ヲ作ツテ、

即チ郡市區ノ醫師會ト町村ノ保險組合トガ契約スルト云フ趣旨ト比較シマス、サウ云フコトヲ考ヘマス、ドウシテモヤハリ道府縣醫師會ト實際ノ契約ヲサセテ行クト云フコトガ實情ニ即スルンデハナイカ、日本醫師會ハ大體ノ契約指導監督ノ任ニ當ツテ、金ノ分配、其ノ他實際ノ問題ハ道府縣醫師會ガヤル方ガドウシテモ事務ノ簡捷能率ヲ上ゲル上ニモ必要デヤナイカト思ヒマスガ、是モドウシテモ日本醫師會トヤラナケレバナラス、聯合會トヤラナケレバナラスト云フ根據ガアルノデアリマス、其ノ點ヲモウ一度ハツキリシテ戴キタイト思ヒマス

○木村政府委員 ドウシテモ日本醫師會トヤラナケレバナラスト云フ法律の根據ハナイト思ヒマス、ソレデ料金ノ支拂ガ迅速ニナルト云フコトニ付キマシテハ出來ルダケ考究シテ見タイト思ヒマス、其ノ點ニ付テハ尙ホ日本醫師會ノ幹部諸君トモ能ク懇談致シマシテ、各「メムバー」ノ醫者ガ最モ便宜ニナルヤウニヤリタイト思ヒマス、尙ホ最近恐ラク少シ料金ノ支拂ガ遅クナツテ居ル理由ハ、實ハ本年度ノ契約ガ少シ複雑ニナリマシテ、十八錢未滿ノモノニ付テ百三十萬圓ノ補給金ヲ平均シテ出ス、而シテ其ノ補給金ヲ平均シテモ尙且ツ十五錢ニ足ラス所ハ政府デ補償スル、斯ウ云フ風ナ從來ナイ一寸複雑ナ支拂契約ヲ結ンダノデアリマシテ、自然各道府縣醫師會ニ對スル支拂ベキ計算ガ複雑ニナツテ居リマス、併シ是ハ明年度ノ契約ニ付キマシテ、サウ云フ契約ヲスルコトガ、サウ云フ精神ハ宜シイガ、技術的ニ醫者ニ却テ支拂ガ不便ニナリハシナイカト云フコトヲ密カニ考ヘテ、將來トモ

出來マシタガ、尙ホ吾々ノ知ツテ居ル點ニ於キマシテハ、健康保險ノ醫者ハ、別ニ健康保險醫協會ト云フモノガアリマシテ、サウシテ組合被保險者ト契約シテヤツテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、是ハ一昨日御説明ヲ承リマシタガ、本當ニ保險醫ノ醫療ト云フモノヲ適正ニシ、事務ヲ敏活ニシ、監督ヲ十分ニシテ能率ヲ上ゲルヤウニシヨウトスルナラバ、私ハ保險醫ハ保險醫トシテノ團體ヲ作ラセテ、サウシテ當局ガ保險醫ヲ直接指導監督ノ下ニ置カナケレバ巧ク行カナイノデヤナイカト考ヘテ居リマス、是ハ將來御研究ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○土屋(清)委員 ソレカラ今ノ道府縣醫師會ト直接ヤツテハ工合ガ惡イノデアリマス、ドウシテモサウシナケレバナラスト云フ根據ハ……

○榎貝政府委員 其ノ點ハ「ドイツ」デハ今土屋サンノ御示シノヤウナ方法ヲ——其ノ通りデハナク、少シ違ツテ居ルト思ヒマスガ——少シ前マデ慥カ採ツテ居ツタト思ヒマス、其ノドチラガ宜イカト云フコトハ、初メニ當リマシテ餘程考フベキコトダト思ツテ居リマス、只今日日本醫師會ト契約スル方式ヲ採リマシテ進行致シテ居ル立場ト致シマシテハ、ソコニ何等カノ缺點ガアレバ其ノ缺點ハ直シマシテ、今御示シノヤウナ支拂ナドニ付キマシテモ早ク行クヤウナ方法ヲ講ズルコトニ致シマシテ、此ノ狀態ヲ改良スルヤウナ餘地ガアレバ改良シテ、サウシテ持續シテ行キタイ、今ハサウ考ヘテ居リマス

○土屋(清)委員 結局先ニ申シマシタヤウニ、今ノヤウニ醫師會ト契約シテ居リマス、今ノヤウニ醫師會ト契約シテ居リマス、ト云フト、醫者ノ半分シカ保險醫ニナツテ居ラナイ、サウシテ其ノ身分ノ監督ハ本省ノ方ニアツテ、醫師會ノ方ニハナイ、日本醫師會ヲ見マスルト云フト、是ハ醫藥制度調査會ニ於テモ色々議論ニナツタノデアリマスガ、日本醫師會ガ健康保險ヲ請負ツタリ何カスルコトハ、日本醫師會ノ本質ニ違ツテ居ハシナイカト云フ議論ガ相當ニアルノデアリマス、「ドイツ」ハ御承知ノ通り今度「ナチ」ニナリマシテカラ強制的ノ醫師會ガ

第六類第六號 健康保險法中改正法律案委員會會議錄 第三回 昭和十六年二月五日

出來マシタガ、尙ホ吾々ノ知ツテ居ル點ニ於キマシテハ、健康保險ノ醫者ハ、別ニ健康保險醫協會ト云フモノガアリマシテ、サウシテ組合被保險者ト契約シテヤツテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、是ハ一昨日御説明ヲ承リマシタガ、本當ニ保險醫ノ醫療ト云フモノヲ適正ニシ、事務ヲ敏活ニシ、監督ヲ十分ニシテ能率ヲ上ゲルヤウニシヨウトスルナラバ、私ハ保險醫ハ保險醫トシテノ團體ヲ作ラセテ、サウシテ當局ガ保險醫ヲ直接指導監督ノ下ニ置カナケレバ巧ク行カナイノデヤナイカト考ヘテ居リマス、是ハ將來御研究ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

吳レナイ、況ヤ夜ナドハ尙更ノコトデアリマス、所ガ開業醫ハ晝間デモ、夜デモ、夜中デモ、招バレバ直グ驅ケテ行ツテ眞劍ニヤツテ居ル、兎角日本ハ官ノヤツテ居ルコトハ良クテ、民ノヤツテ居ルコトハ良クナイト云フ感ジガ一般ニアリマスガ、官民共ニ保險醫トシテ御奉公スルコトハ同ジデアリマス、隨テソレニ對スル報酬モ當然ハ差別ナクヤツテ行クベキモノデハナイカト思ヒマスガ、此ノ點ハドウ御考ヘデアリマスカ、若シ差別ヲシテ行カナレバナラスト云フナラバ其ノ根據ハ何處ニアリマスカ、又將來モ之ヲ繼續シテ行ク御考ヘデアリマスカ

○木村政府委員 特ニ意識的ニ差別スルト云フ考ヘデアリマス居ルモノデハナイト私ハ考ヘマス、唯保險經濟ノ上カラ見マシテ、人頭式デ以テ日本醫師會ガ全部ノ被保險者ノ醫療ヲ請負フト云フデアリマスカラ、此ノ出發點カラシマシテ結局一點平均單價ノ場合ニハ十錢未滿ト云フヤウナコトニナルノデハナイカト思ヒマス、最近ハ大體一點平均最低十五錢以上十七錢ト云フコトニナツテ居ルデアリマスガ、是ガ大體二十錢見當マデ上レバマアノ満足シテ戴ケルノデハナイカト考ヘテ居ルデアリマス、結局人頭式ノ場合ニ於テハ一人ノ請負額ノ問題ニ相成ル譯デアリマス、請負額ヲ上ゲマスレバ一點單價ガ上ルト云フコトニ相成ルノデアリマス、是ハ特ニ區別スルト云フ意識的ナモノデハナクシテ、請負方式カラ來ル結果デアリマシテ、而モ官立病院ノ方ハ請負デハナクテ定額式デ、其ノ中ノ二割ヲ割引シテ拂フト云フコトニ相成ルカラデアラウト思ヒマス、結果ガサウナツテ居ル

コトハ、是ハ結果ニ於テハ遺憾ニ感ズル次第デアリマスガ、從來モサウ云フ差ガ出來得ル限り少クナルヤウニト云フコトハ努メテ居リマス、今マデ十錢未滿ノモノヲ今度最低十五錢ヲ保證スルコトニシタノモ其ノ一ツデアラウト思ヒマス、將來トモ出來得ル限り其ノ幅ガ少クナルヤウニ當局トシテハ努力シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○土屋(清)委員 只今ノ御説明ニ依ルト醫師會ノ契約ハ人頭式、官立病院トノ契約ハ定額式デアラカラ自ラサウ云フ差別ガ出來ルト云フコトデアリマスガ、ソレデハ若シ醫師會ガ定額式ノ契約ヲ希望スレバ、ヤハリ官立病院ト同ジヤウニ定額式ニナサル御考ヘデアリマスガ、現ニ數年來大阪ノ保險醫協會、其ノ他カラ請願ヲシタリ、陳情ヲシタリシテ居リマス趣旨モ、一點ノ單價ヲ二十錢以上ニシテ定額式ニシテ貰ヒタイト云フ希望ナノデアリマス、初メノ出發點ガ違フカラ斯ウナツタト云フナラバ、保險醫ノ方デ今度定額式ニシテ貰ヒタイト云フ希望ガ出テ居リマスガ、其ノ點ニ付テハ政府ノ方ハ御異存ゴザイマセヌカ

○木村政府委員 其ノ點ハ私マダ就任匆々デ此處デ御答ヘ申上ガ兼ねマスガ、保險經濟ノ建前カラ申シマシテ、人頭式デ請負ハセテ置クコトガ一番安全ナノデアリマス、ソコハ人頭式ガ低過ギルナラバ、保險經濟ノ許ス限度ニ於テ人頭式ヲ上ゲルト云フ方ガ保險經濟ノ建前カラ申シマス安全デアアル、故ニ保險經濟ノ許ス限度ニ於テ之ヲ上ゲルト云フコトニ致シマスレバ宜クハナイカト思ツテ居リマス、若シソレヲ定額式ニ致シマス、醫者及保險者ノ立場カラ申シマスト云フト、濫療濫診ガ行ハレハシナイ

カ、醫療費ガ高マリハシナイガラウカ、或ハ半年ヤ一年ノ内ニハサウ云フ現象ハ現レヌカ知ラスガ、二年、三年ノ内ニハ向フノ言ヒナリニナル、醫師會ノ査定モ、現在ハ請負制度カラ嚴重ニ査定シテ吳レルガ、定額式ニナツタラ査定ガ緩カニナリハシナイカト云フコトヲ色々考慮シナケレバナラスト思ツテ居リマス、私ハサウ云フ濫療濫診ガ防ゲルモノナラバ定額式ガ理想デアアル、必要以外ノ治療ハ如何ナル醫者モ絶對ニシナイ、徒ラニ點稼ギノヤウナ巧好ナコトハ如何ナル醫者モシナイト云フコトガ明カニナリマスレバ、今ノ定額式デアルガ理想デアラウト私ハ思ツテ居リマス、隨テ小サイ組合デアツテ、被保險者ノ監督モ巧ク行ク、掛リ醫者モ極メテ限定シテアルト云フヤウナ保險組合ニ於キマシテハ、定額式ガ恐ラク理想デアラウト思フノデアリマスガ、政府ハ全國ニ於テ非常ナ廣範圍ニ被保險者ヲ持ツ關係デ、定額式ヲ採ツタ場合ニ於テハ、直チニ半年ヤ一年ノ内ニハ弊害ハ現ハレナイカモ知レナイガ、二年、三年ノ内ニハ或ハ保險經濟ヲ危クスルヤウナコトガ現ハレルカモ知レスト云フコトヲ心配シナケレバナラナイト思フノデアリマス、理想トシテハ定額式ニ同感デゴザイマスガ、保險經濟ヲ定額式デ持テルカドウカト云フコトニ付テハ——從來モ今ノ健康保險ヲ運營シテ來ラレタ先輩モソレヲ採ラレナカツタ理由ガ其ノ點ニアルガラウト私ハ考ヘテ居ルデアリマシテ、今直チニ定額式ヲ採ルダケノ用意ヲ現在ノ所ハ持ツテ居リマセヌガ、併シ定額式ガ理想デアルト云フコトハ全然同感デアリマスカラ、尙ホ篤ト研究シテ見タイト思ヒマス

○土屋(清)委員 サウ致シマス、結局定額式デ差支ナイガ、定額式デヤツタノデハ濫診濫療ガ盛シニ行ハレタ場合ニ、保險經濟ヲ危險ニ陷レル、故ニ人頭式デヤツテ來タト云フ風ニ聞エマスガ、成程今マデノ保險醫ノ中ニハ、一昨日保險院長官ノ御話ノ通り、點數稼ギノ醫者モアツタデアリマセウ、サウ云フ點ガアリマスカラ、私ハ醫師出身ノ議員デアリナガラ、醫師會ノ役員ノ中ニハサウ云フコトガアルト云フコトデアリマスカラ、醫師會ヲ嚴重ニ監督シナケレバナラスト云フコトマデモ、不遠慮ニ手厳シク申シタノデアリマス、併シ今日ハ此ノ時勢ニ反省シマシテ、醫師ノ氣分モ大分變ツテ來テ居リマス、先般醫藥制度調査會ニ掛ツテ居リマス醫師法ノ問題デ、共立講堂ニ約三千人程會員ガ集マツタ其ノ時ノ名前ハ醫道報全國醫師大會ト云フデアリマスガ、斯ウ云フ譯デ醫師ノ氣分ハ、今マデノヤウナコトデハイカス、本當ニ全國民ノ健康ヲオモヒガ引受ケテヤルト云フ氣持デナケレバイケナイト云フ熱意ニ燃エマシテ、サウ云フ同志ヲ以テ今度大日本醫學會ト云フモノヲ組織シテ、先ヅ以テオモヒニ自肅自省シテ、醫道ノ大本ニ基イテ、苟モ醫師トシテ後口暗イヤウナ治療ハシナイヤウニシテ行カウ、サウシテ政府ガ若シソレニ同意デアルナラバ、吾々ハ一團トナツテ政府ト手ヲ握ツテ、事醫療ニ關スル問題ニ付テハ政府ニ心配ヲ掛ケナイヤウニシヨウ、斯ウ云フ氣分ニ今段々ナツテ居ルデアリマス、昨日サウ云フ醫者ノ實行委員カラ健康保險醫療ニ付テノ請願ガ出テ居リマスガ、其ノ中ニハ只今申シマシタ定額式デヤツテ貰ヒタイト云フコトガ一ツニナツテ居リマス、時

局非常ニ重大ノ場合デアツテ、殊ニ人的資
源ノ涵養ガ大事デアリマス、一人タリトモ
病氣ニナル者ガ少クナル、一人タリトモ病
氣ニナツタ者ハ早ク癒ツテ働ケルヤウニス
ルコトガ、是レ全ク國ノ醫療機關ヲ設ケタ
理想デアリマスカラ、民間ノ開業醫ノ間ニサ
ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルト云フコトヲ一ツ
御諒承下サイマシテ、此ノ點特ニ御研究ヲ
願ヒタイト存ジマス、何レ數日中ニハ此ノ
請願ガ請願委員會ニ現ハレルコトト存ジマ
スカラ、若シソレマデニ御研究ニナリマシ
テ御明答ヲ承ルコトガ出來マスレバ、大變
仕合セト存ジマス、長イ間發言致シマシタ
ガ、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○清水(留)委員 議事進行ニ付テ——質問
ハ大體終ツタヤウデアリマスカラ、私政
府ニ資料ノ要求ヲ致シタイト思ヒマス、何
レ近ク醫療保護法ガ提出サレル筈デアリマ
スガ、其ノ際ニ醫藥制度調査會ニ於キマシ
テ議決致シマシタ答申案ノ項目ト内容、及
ビ其ノ中ニ於テ此ノ議會ニ政府ガ提出スル
見込ノ案ガアルカナイカ、又提出シナケレ
バ提出シナイ所ノ理由ニ付キマシテ資料ノ
提出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○野田委員長 是デ此ノ法案ニ對スル質問
ハ終了致シマシタガ、討論及ビ採決ハ此ノ
次ノ機會ニ致シタイト存ジマス、次會ハ公
報ヲ以テ御知ラセ申上ゲマス、本日ハ是ニ
テ散會致シマス

午後三時三十七分散會

昭和十六年二月五日印刷

昭和十六年二月六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局